

三郷町教育委員会
教育に関する事務の点検及び評価報告書
(平成28年度実施分)

平成29年9月
三郷町教育委員会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定に基づき、平成28年度実施分の教育に関する事務の点検及び評価を行いましたので、その結果をまとめ、報告いたします。

平成29年9月5日

三郷町教育委員会

教育長 池田 朝博

教育長職務代理者 鶴丸 浩

委員 芝崎 善彦

委員 澤 美穂

委員 窪内 真一

目 次

I	点検・評価の概要	1
II	町教育委員会の活動状況	2
III	施策及び事業の点検・評価	7
	1. 三郷町教育大綱との対応関係	8
	2. 平成28年度主要事業と主な内容	9
	3. 点検・評価項目	
	①学校施設の整備	12
	②教職員研修の充実	14
	③就園・就学の支援	16
	④特別支援教育の推進	18
	⑤情報・国際教育の推進	20
	⑥いじめ・不登校の対策	22
	⑦地域の教育力の向上	24
	⑧安全・安心の学校づくり	26
	⑨学校給食体制の整備	28
	⑩幼児教育の充実	30
	⑪放課後児童クラブの充実	32
	⑫生涯学習の推進	34
	⑬青少年の健全育成	36
	⑭人権教育・啓発の推進	38
	⑮文化センターの充実	40
	⑯文化活動への支援	42
	⑰図書館の充実	44
	⑱文化財の保護と活用	47
	⑲生涯スポーツの推進	49
	⑳スポーツ施設の整備	51
IV	学識経験者の知見の活用	53

I 点検・評価の概要

1. 点検・評価の目的

町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を点検及び評価を行うことで、これまで取り組んできた施策の課題等を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図るとともに、その結果を公表することにより開かれた教育行政を推進することを目的としています。

2. 点検・評価の対象

点検及び評価は平成28年度の実績に基づき、「町教育委員会の活動状況」及び「町教育委員会が実施する施策及び事業」を対象としています。

3. 点検・評価の実施方法

- ①町教育委員会の活動状況については、平成28年度の教育委員会議の開催状況や審議事項等を総括し点検しました。
- ②町教育委員会が実施する施策及び事業については、「三郷町教育大綱」の基本目標となる「子育てなら三郷町」「教育なら三郷町」「住み続けるなら三郷町」の3つの柱のもとに設定した21の項目に沿って20の点検評価項目を定め、事務事業ごとの平成28年度実績を検証し、「事業評価シート」にまとめました。
- ③点検及び評価にあたっては、客観性を確保するため、教育に関する学識経験者から指導・助言を受け、報告書をまとめました。

【点検評価有識者】

氏名	所属・役職
かなやま のりまさ 金山 憲正	奈良学園大学 副学長 (人間教育学部 教授)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」～抜粋～

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ 町教育委員会の活動状況

1. 教育委員

役職名	氏名		備考
教育長	新	池田朝博	平成29年3月23日 就任
	旧	山野一明	平成29年3月22日 退任
教育長職務代理者	新	鶴丸浩	平成29年3月23日 就任
委員長	旧		平成29年3月22日 退任
委員	芝崎善彦		-
委員	澤美穂		-
委員	新	窪内真一	平成29年3月23日 就任
	旧	森川征浩	平成29年3月22日 退任

2. 教育委員会議の開催状況

- ①定例会・・・11回
- ②臨時会・・・6回

3. 教育委員会議の審議状況

- ①審議事項・・・23件
- ②報告事項・・・15件（各課別報告除く。）

※次頁以降に、平成28年度の教育委員会の開催状況及び審議状況を記載しています。審議事項については「議案」として、その他の報告事項については「報告」に分類し、記載しています。

4. 教育委員の活動状況

- ①学校(園)計画訪問実施(年1回)
幼稚園1園、小学校2校、中学校1校
- ②小中学校教諭との意見交換会(年1回)
小学校2校・中学校1校
- ③各小中学校・幼稚園PTA役員との意見交換会(年1回)
- ④学校行事への参加
入学(園)式、卒業(園)式、運動会、体育祭、文化祭等
- ⑤各種会議、行事、研修会等への参加
子どもの安全対策連絡会議、学校支援地域本部事業実行委員会、人権教育、青少年育成各種会議、不登校対策連絡会、各種研修・研究大会、成人式等

IV 学識経験者の知見の活用

1. 点検評価有識者

平成28年度実施分の点検・評価を行うにあたり、客観性を確保するため、平成29年度に点検評価有識者に委嘱（委嘱期間：2ヵ年）した下記の学識経験者の指導及び助言を受け、報告書に所要の修正を行った。

点検評価有識者：奈良学園大学 副学長 金山 憲正

2. 指導・助言の内容

なお、今年度の報告書の総括と次年度以降に改善すべき課題として、以下の指導及び助言をいただいた。

点検・評価に関する事務が全般にわたり適切に執行されている。

「子育てなら三郷町」「教育なら三郷町」「住み続けるなら三郷町」の基本目標を受け、適切な基本施策が講じられていると共に、それぞれの施策に対しPDCAサイクルに沿い充実した改善活動が実施されている。

今後とも、直面する教育課題、社会状況の変化、地域住民の方々の願い等を踏まえ、広い視野で未来の三郷町像を見据えてより充実した施策が展開されることを願う。

例えば、新しい学習指導要領では「道徳」「英語」が教科として登場することや、「主体的・対話的で深い学び」が取り上げられていることにも関連した教職員研修の充実なども一つの着眼点であると考える。

なお、前年度同様、各施策の今後の方向性で、「予算拡充」「事業拡大」にチェックが入っている施策に関しては、財政負担及び事業の執行体制等のバランスに十分配慮する必要があると考える。

平成29年8月21日

金山 憲正

平成28年度 教育委員会議の開催状況について

会 議	平成28年 第4回定例教育委員会	開会日	平成28年4月18日(月)
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局職員の人事異動について ・教職員の人事異動について ・生駒郡教育長会について ・生駒郡地教委連絡協議会について ・三郷町教育委員会事務局組織に関する規則等の一部改正について ・各課別報告 		
会 議	平成28年 第5回定例教育委員会	開会日	平成28年5月17日(火)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度町立学校(園)計画訪問の実施日程について ・三郷町保育料等徴収条例の一部改正について 		
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		
会 議	平成28年 第6回定例教育委員会	開会日	平成28年6月13日(月)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について 		
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度三郷町立学校の学校評議員報告について ・平成27年度学校給食費の滞納状況について ・各課別報告 		
会 議	平成28年 第1回臨時教育委員会	開会日	平成28年7月12日(火)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷中学校生徒の出席停止について 		
会 議	平成28年 第7回定例教育委員会	開会日	平成28年8月16日(火)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する事務の点検及び評価報告書(平成27年度実施分)について 		
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度使用小・中学校教科用図書採択について ・公益財団法人三郷町文化振興財団の経営状況について ・各課別報告 		
会 議	平成28年 第2回臨時教育委員会	開会日	平成28年8月30日(火)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷中学校生徒の出席停止に係る意見聴取について 		
会 議	平成28年 第3回臨時教育委員会	開会日	平成28年8月31日(水)
議 案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷中学校生徒の出席停止について 		

会 議	平成28年 第4回臨時教育委員会	開会日	平成28年9月13日(火)
議案	・三郷中学校生徒の出席停止に係る意見聴取について		
会 議	平成28年 第5回臨時教育委員会	開会日	平成28年9月14日(水)
議案	・三郷中学校生徒の出席停止について		
会 議	平成28年 第8回定例教育委員会	開会日	平成28年9月27日(火)
報告	・平成27年度図書館の利用状況について ・各課別報告		
会 議	平成28年 第9回定例教育委員会	開会日	平成28年10月13日(木)
議案	・三郷町心身障害児就学指導委員会への諮問について ・三郷町学校支援地域本部事業実行委員会委員の委嘱について		
報告	・平成28年第3回(9月)三郷町議会定例会について ・平成28年度町立学校(園)計画訪問の日程について ・各課別報告		
会 議	平成28年 第10回定例教育委員会	開会日	平成28年11月14日(月)
議案	・三郷町文化センター条例の一部改正について ・三郷町スポーツセンター条例の一部改正について ・三郷町文化財の指定について		
報告	・各課別報告		
会 議	平成28年 第11回定例教育委員会	開会日	平成28年12月16日(金)
議案	・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について ・三郷町心身障害児就学指導委員会への諮問について		
報告	・平成28年度学校給食費の滞納状況について ・各課別報告		
会 議	平成29年 第1回定例教育委員会	開会日	平成29年1月16日(月)
議案	・平成28年度卒業(園)式及び平成29年度入学(園)式について ・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について		
報告	・各課別報告		

会 議	平成29年 第2回定例教育委員会	開会日	平成29年2月20日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町町立小学校、中学校及び幼稚園の設置に関する条例の一部改正について ・三郷町立学校の体育施設開放に関する条例の一部改正について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・各課別報告 		
会 議	平成29年 第3回定例教育委員会	開会日	平成29年3月15日(水)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度三郷町立学校の学校評議員の委嘱について ・平成30年三郷町成人式の開催について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度町立学校(園)の教育課程について ・各課別報告 		
会 議	平成29年 第1回臨時教育委員会	開会日	平成29年3月23日(木)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長職務代理者の指名について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度予算の概要について 		

Ⅲ 施策及び事業の点検・評価

1. 点検・評価の項目

点検及び評価にあたっては、より効率的で実効性のあるものにするため、「三郷町教育大綱」の施策体系に沿って、次頁の表のとおり20の「点検・評価項目」を設定しています。

点検及び評価の方法については、各事業の課題とその改善方法及び結果について、PDCAサイクル(※)に従い、詳細に記載するとともに、成果指標と決算額を示し、成果とコストを明確にするようにしています。

また、国や県の補助事業については、その内容や額等を明記しています。

2. 点検・評価結果の内容

各項目は、「1. 基本事項」「2. 事業概要・目的」「3. 事業実績・結果」「4. 点検評価・課題」「5. 改善方法・結果」「6. 今後の計画・方向性」に分類しています。

【基本事項】

→施策の名称、担当課、教育大綱との相関性及びその施策が目指す基本的な方向性を記載しています。

【事業概要・目的】

→各施策に基づいて教育委員会が実施した事業の概要とその目的を記載しています。

【事業実績・結果】

→実施した事業の実績及び結果を記載しています。数値については、平成28年度実績です。（「◎」については、補助事業を示します。）

【点検評価・課題】

→事業実績及び結果に基づき、事業の達成度、成果及び課題を記載しています。成果については、成果指標と決算額を数値で示しています。

また、課題については、継続的な課題とともに、平成28年度における新たな課題に分類して記載しています。

【改善方法・結果】

→継続的な課題に対する改善方法及び結果並びに新たな課題に対する改善方法などについて記載しています。

【今後の計画・方向性】

→事業の今後の方向性と計画について記載しています。

※PDCAサイクル

計画 (PLAN) → 実行 (DO) → 点検 (CHECK) → 見直し (ACTION) の流れを次の計画に活かすことで、継続的な改善を図るプロセス。

平成28年度主要事業と主な内容

点検・評価項目	主要事業及び内容
①学校施設の整備	・学校、幼稚園の改修・整備工事
	①三郷中学校仮設校舎(リース)設置工事等
	②三郷小学校太陽光発電設備設置工事等
②教職員研修の充実	・小中学校、幼稚園の教職員研修、県実施研修への参加
③就園・就学の支援	・小中学校就学援助、幼稚園就園奨励
④特別支援教育の推進	・特別支援教育の推進、教育相談、特別支援教育就学奨励
⑤情報・国際教育の推進	・校内LAN・教育用コンピュータの整備、ALT(外国語指導助手)の派遣
	①ICT教育機器整備(3ヶ年計画)初年度分
	②ICT支援員の配置
⑥いじめ・不登校の対策	・スクールカウンセラー活用、心の相談員、メンタルヘルス相談
⑦地域の教育力の向上	・子ども人権学習支援事業、学校支援地域本部事業
⑧安全・安心の学校づくり	・子ども情報ネットさんごう、さんごう子ども見まもり隊、青色防犯パトロール
⑨学校給食体制の整備	・安全安心の学校給食、食育の推進
	①「教育ファーム実践事業」(地産地消)の推進
	②食物アレルギー対応の徹底
⑩幼児教育の充実	・地域に開かれた幼稚園、子育て支援
⑪放課後児童クラブの充実	・放課後児童クラブの運営
⑫生涯学習の推進	・学習基盤の整備、各種学級の運営
⑬青少年の健全育成	・青少年育成三郷町民会議、親子のつどい、教育講演会、成人式
⑭人権教育・啓発の推進	・識字学級、人権教育地区別懇談会、人権問題学習セミナー、人権相談
⑮文化センターの充実	・公開講座・文化教室、グループ活動の支援
	・施設整備、指定管理
	①文化ホール電動式移動観覧席入替工事
	②文化ホール舞台吊物設備ワイヤー取替工事
③指定管理者の指定(平成27年度～平成29年度)	
⑯文化活動への支援	・生涯学習の指導者等の活用支援、各種団体への助成
⑰図書館の充実	・情報資料の提供、子ども読書の推進、生涯学習事業の推進
⑱文化財の保護と活用	・文化財の保護、文化財の啓発・活用、地域の歴史学習の機会の提供
	①万葉歌碑等の解説板の設置(3箇所)
	②「伝解脱上人貞慶五輪塔出土蔵骨器」を三郷町指定文化財に指定
③町制50周年歴史講演会及び万葉集シンポジウムの実施	
⑲生涯スポーツの推進	・スポーツの推進、軽スポーツ事業
⑳スポーツ施設の整備	・スポーツ施設の整備、指定管理
	①ウォータパーク室内プール天井改修等施設整備工事
	②指定管理(平成25年度～平成29年度)

平成28年度主要事業と主な内容

点検・評価項目	主要事業及び内容
①学校施設の整備	・学校、幼稚園の改修・整備工事
	①三郷中学校仮設校舎設置工事(リース対応)等
	②三郷小学校太陽光発電設備設置工事等
③三郷北小学校太陽光発電設備設置及び特別教室増築工事等	
②教職員研修の充実	・小中学校、幼稚園の教職員研修、県実施研修への参加
③就園・就学の支援	・小中学校就学援助、幼稚園就園奨励
④特別支援教育の推進	・特別支援教育の推進、教育相談、特別支援教育就学奨励
⑤情報・国際教育の推進	・校内LAN・教育用コンピュータの整備、ALT(外国語指導助手)の派遣
	①ICT教育機器整備3ヶ年計画初年度分の整備
	②ICT教育支援員の配置。
⑥いじめ・不登校の対策	・スクールカウンセラー活用、心の相談員、メンタルヘルス相談
⑦地域の教育力の向上	・子ども人権学習支援事業、学校支援地域本部事業
⑧安全・安心の学校づくり	・子ども情報ネットさんごう、さんごう子ども見まもり隊、青色防犯パトロール
⑨学校給食体制の整備	・安全安心の学校給食、食育の推進、給食センターの建替
	①「教育ファーム実践事業」(地産地消)の推進
	②食物アレルギー対応の徹底
⑩幼児教育の充実	・地域に開かれた幼稚園、子育て支援
⑪放課後児童クラブの充実	・放課後児童クラブの運営
⑫生涯学習の推進	・学習基盤の整備、各種学級の運営
⑬青少年の健全育成	・青少年育成三郷町民会議、親子のつどい、教育講演会、成人式
⑭人権教育・啓発の推進	・識字学級、人権教育地区別懇談会、人権問題学習セミナー、人権相談
⑮文化センターの充実	・公開講座・文化教室、グループ活動の支援、指定管理
	①指定管理者の指定(平成27年度から平成29年度までの3年間)
	・施設整備
	①文化ホール電動式移動観覧席入替工事 ②文化ホール舞台吊物設備ワイヤー取替工事
⑯文化活動への支援	・生涯学習の指導者等の活用支援、各種団体への助成
⑰図書館の充実	・情報資料の提供、子ども読書の推進、生涯学習事業の推進
	①図書館の祝日開館
⑱文化財の保護と活用	・文化財の保護、文化財の啓発・活用、地域の歴史学習の機会の提供
	①万葉歌碑等の解説版の設置(3箇所)
	②文化財「伝解説上人貞慶五輪塔出土蔵骨器」が三郷町指定文化財に決定
	③町制50周年歴史講演会及び万葉集シンポジウムの実施
⑲生涯スポーツの推進	・スポーツの推進、軽スポーツ事業
⑳スポーツ施設の整備	・スポーツ施設の整備、指定管理
	①指定管理(平成25年度から平成29年度までの5年間)
	②ウォータパーク施設施設整備工事

平成28年度主要事業

点検・評価項目	主要事業
①学校施設の整備	・学校、幼稚園の改修・整備工事
②教職員研修の充実	・小中学校、幼稚園の教職員研修、県実施研修への参加
③就園・就学の支援	・小中学校就学援助、幼稚園就園奨励
④特別支援教育の推進	・特別支援教育の推進、教育相談、特別支援教育就学奨励
⑤情報・国際教育の推進	・校内LAN・教育用コンピュータの整備、ALT(外国語指導助手)の派遣
⑥いじめ・不登校の対策	・スクールカウンセラー活用、心の相談員、メンタルヘルス相談
⑦地域の教育力の向上	・子ども人権学習支援事業、学校支援地域本部事業
⑧安全・安心の学校づくり	・子ども情報ネットさんごう、さんごう子ども見まもり隊、青色防犯パトロール
⑨学校給食体制の整備	・安全安心の学校給食、食育の推進、給食センターの建替
⑩幼児教育の充実	・地域に開かれた幼稚園、子育て支援
⑪放課後児童クラブの充実	・放課後児童クラブの運営
⑫生涯学習の推進	・学習基盤の整備、各種学級の運営
⑬青少年の健全育成	・青少年育成三郷町民会議、親子のつどい、教育講演会、成人式
⑭人権教育・啓発の推進	・識字学級、人権教育地区別懇談会、人権問題学習セミナー、人権相談
⑮文化センターの充実	・公開講座・文化教室、グループ活動の支援、指定管理
⑯文化活動への支援	・生涯学習の指導者等の活用支援、各種団体への助成
⑰図書館の充実	・情報資料の提供、子ども読書の推進、生涯学習事業の推進
⑱文化財の保護と活用	・文化財の保護、文化財の啓発・活用、地域の歴史学習の機会の提供
⑲生涯スポーツの推進	・スポーツの推進、軽スポーツ事業
⑳スポーツ施設の整備	・スポーツ施設の整備、指定管理

【三郷町教育大綱との対応関係】

＜教育大綱 基本目標＞

I 「子育てなら三郷町」

若い人が住んでよかったと思えるまちを目指して、安心して子どもを産み、育てられるまちづくりのため、保健事業や食育の推進、仕事と子育ての両立を支援する保育サービスなど子育て支援の充実を図ります。

II 「教育なら三郷町」

まち全体で子どもたちの成長を応援するため、学校と地域の連携を深めながら、地域における学習や世代間交流の場づくり、自然や歴史など周辺環境を活かした学校づくりを目指します。

III 「住み続けるなら三郷町」

生涯成長する「学び」の姿勢と心豊かなふれあいを通じて、子どもからお年寄りまですべての人が、いきいきと生きがいをもって暮らすことのできる活力ある地域づくりを進めます。

基本目標	基本施策	点検・評価項目頁
I 「子育てなら三郷町」	・放課後児童クラブの充実	P29
	・幼児教育の充実	P27
	・就園・就学の支援	P13
II 「教育なら三郷町」	・学校施設の整備	P 9
	・教職員研修の充実	P11
	・特別支援教育の推進	P15
	・情報・国際教育の推進	P17
	・いじめ・不登校の対策	P19
	・安全・安心の学校づくり	P23
	・地域の教育力の向上	P21
	・学校給食体制の整備	P25
	・学校ICT教育の推進	P17
III 「住み続けるなら三郷町」	・生涯学習の推進	P31
	・青少年の健全育成	P33
	・人権教育・啓発の推進	P35
	・文化センターの充実	P37
	・文化活動への支援	P39
	・図書館の充実	P41
	・文化財の保護と活用	P43
	・生涯スポーツの推進	P45
・スポーツ施設の整備	P47	

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	①学校施設の整備	担当課名	学校教育課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の耐震性を確保します。 誰もが利用しやすい環境とするため、施設の整備を行います。 				

2 事業概要・目的(PPLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設は、幼児・児童・生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場であり、「生きる力」を育むための教育環境として重要な意義を持つだけでなく、地震などの災害発生時に地域住民の緊急避難場所としての役割をも果たすことから、その安全性を確保する。 施設の耐震化のみでなく、天井・窓などの非構造部材の耐震性についても安全性を確保する。 第2次ベビーブーム時代に建設した学校施設の老朽化が深刻である状況から、再生整備（改修）を優先順位をつけて実施する。 三郷中学校の老朽化により、校舎の建替えを行う。 三郷中学校建替えに伴い、奈良学園大学三郷キャンパス内に三郷中学校仮設校舎を建設する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○学校施設の耐震化の状況</p> <p>※対象：非木造2階建以上、又は延べ床面積200㎡以上</p> <p>・耐震化対象棟数：20棟（南畑幼稚園1、三郷小学校6、三郷北小学校5、三郷中学校8）</p> <p>・耐震化率：100%</p> <p>※体育館非構造部材の耐震について</p> <p>・平成24年度の耐震点検結果を踏まえて、三郷小学校及び三郷中学校は平成26年度に落下防止対策を実施済み。なお、南畑幼稚園及び三郷北小学校は、対策を要する箇所なし。</p>																					
	<p>○各学校・園の施設整備状況（主な補修工事等、事業費200,000円以上）</p>																					
	<p>【三郷小学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>視聴覚室屋上防水工事</td> <td>2,354,400</td> </tr> <tr> <td>プールサイド側溝及びプール出入口修理</td> <td>1,431,000</td> </tr> <tr> <td>廊下等床面補修</td> <td>431,589</td> </tr> <tr> <td>教室レール式ドア取替工事</td> <td>1,155,600</td> </tr> <tr> <td>管理棟補修</td> <td>343,440</td> </tr> <tr> <td>太陽光発電・リチウムイオン蓄電システム設置工事</td> <td>25,369,200</td> </tr> <tr> <td>モニター交換修理</td> <td>453,600</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31,538,829</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	視聴覚室屋上防水工事	2,354,400	プールサイド側溝及びプール出入口修理	1,431,000	廊下等床面補修	431,589	教室レール式ドア取替工事	1,155,600	管理棟補修	343,440	太陽光発電・リチウムイオン蓄電システム設置工事	25,369,200	モニター交換修理	453,600	合計	31,538,829			
	工事名称	事業費(円)																				
	視聴覚室屋上防水工事	2,354,400																				
	プールサイド側溝及びプール出入口修理	1,431,000																				
	廊下等床面補修	431,589																				
	教室レール式ドア取替工事	1,155,600																				
	管理棟補修	343,440																				
	太陽光発電・リチウムイオン蓄電システム設置工事	25,369,200																				
モニター交換修理	453,600																					
合計	31,538,829																					
<p>【三郷北小学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プールサイドシーリング打替工事</td> <td>415,800</td> </tr> <tr> <td>児童用ロッカー塗装</td> <td>248,400</td> </tr> <tr> <td>遊具補修等</td> <td>901,260</td> </tr> <tr> <td>体育館トイレブース取替及び洋式化改修工事</td> <td>1,796,040</td> </tr> <tr> <td>特別教室増築工事</td> <td>11,945,880</td> </tr> <tr> <td>プール排水溝バルブ修理</td> <td>672,000</td> </tr> <tr> <td>エアコン設置工事</td> <td>421,200</td> </tr> <tr> <td>飼育小屋改修工事</td> <td>907,200</td> </tr> <tr> <td>太陽光発電・リチウムイオン蓄電システム・ペレットストーブ設置工事</td> <td>31,752,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>49,059,780</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	プールサイドシーリング打替工事	415,800	児童用ロッカー塗装	248,400	遊具補修等	901,260	体育館トイレブース取替及び洋式化改修工事	1,796,040	特別教室増築工事	11,945,880	プール排水溝バルブ修理	672,000	エアコン設置工事	421,200	飼育小屋改修工事	907,200	太陽光発電・リチウムイオン蓄電システム・ペレットストーブ設置工事	31,752,000	合計	49,059,780
工事名称	事業費(円)																					
プールサイドシーリング打替工事	415,800																					
児童用ロッカー塗装	248,400																					
遊具補修等	901,260																					
体育館トイレブース取替及び洋式化改修工事	1,796,040																					
特別教室増築工事	11,945,880																					
プール排水溝バルブ修理	672,000																					
エアコン設置工事	421,200																					
飼育小屋改修工事	907,200																					
太陽光発電・リチウムイオン蓄電システム・ペレットストーブ設置工事	31,752,000																					
合計	49,059,780																					
<p>【三郷中学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育館床修繕</td> <td>220,320</td> </tr> <tr> <td>仮設校舎リース料（28年度分）</td> <td>158,710,000</td> </tr> <tr> <td>仮設校舎土砂災害防護工事</td> <td>756,000</td> </tr> <tr> <td>仮設校舎敷砂利等工事</td> <td>399,600</td> </tr> <tr> <td>奈良学園大学テニスコート移設等整備工事</td> <td>14,823,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>174,908,920</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	体育館床修繕	220,320	仮設校舎リース料（28年度分）	158,710,000	仮設校舎土砂災害防護工事	756,000	仮設校舎敷砂利等工事	399,600	奈良学園大学テニスコート移設等整備工事	14,823,000	合計	174,908,920								
工事名称	事業費(円)																					
体育館床修繕	220,320																					
仮設校舎リース料（28年度分）	158,710,000																					
仮設校舎土砂災害防護工事	756,000																					
仮設校舎敷砂利等工事	399,600																					
奈良学園大学テニスコート移設等整備工事	14,823,000																					
合計	174,908,920																					
<p>【南畑幼稚園】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建屋正門前通路屋根・テラスカーテン取付工事</td> <td>1,782,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,782,000</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	建屋正門前通路屋根・テラスカーテン取付工事	1,782,000	合計	1,782,000																
工事名称	事業費(円)																					
建屋正門前通路屋根・テラスカーテン取付工事	1,782,000																					
合計	1,782,000																					
<p>○三郷中学校の建替えについて</p> <p>・昨年度に引き続き、学校長や地域代表者などで構成された三郷中学校建替検討委員会を3回開催し、三郷中学校建替事業基本計画について承認を得た。</p> <p>・三郷中学校建替事業に係る保護者説明会を3回開催し、延べ454人の保護者が参加。仮設校舎や通学方法等についての説明を行い、後日、質疑応答の内容をまとめ、周知した。</p>																						

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の耐震化率については、100%を達成している。【成果指標①】 ・各施設において、緊急かつ優先的に必要な改修・補修を実施したが、経年に伴う改修・補修が今後さらに必要である。 ・平成28年度の工事費は、太陽光発電設備設置工事や特別教室の増築、中学校建替事業に伴う仮設校舎の設置やテニスコート移設等整備工事などを行ったため、前年度に比べて大幅な増加となった。 <p>【成果指標②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三郷北小学校のクラス数増への対応に向け、旧放課後児童クラブ設置場所に特別教室を増築した。 ・三郷中学校建替えに伴い、仮設校舎が竣工した。 ・指定避難所となっている三郷小学校及び三郷北小学校体育館において、非常時における電源を確保するため、太陽光発電システムの設置・運用を開始した。 																																									
②成果指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>成果指標名</th> <th>単位</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>決算額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①学校施設耐震化状況(対象施設)</td> <td>耐震化率</td> <td>%</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>H27 0 H28 0</td> </tr> <tr> <td>②各学校、園改修・補修工事</td> <td>補修・改修件数</td> <td>件</td> <td>85</td> <td>33</td> <td>H27 21,027,082 H28 257,289,529</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)	①学校施設耐震化状況(対象施設)	耐震化率	%	100	100	H27 0 H28 0	②各学校、園改修・補修工事	補修・改修件数	件	85	33	H27 21,027,082 H28 257,289,529																							
事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)																																					
①学校施設耐震化状況(対象施設)	耐震化率	%	100	100	H27 0 H28 0																																					
②各学校、園改修・補修工事	補修・改修件数	件	85	33	H27 21,027,082 H28 257,289,529																																					
③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①経年による改修・補修が必要な施設については、バリアフリー化も含めて随時対応していく必要がある。 ②トイレの洋式化が一般的になってきている中、特に小学校低学年では和式トイレの使用方法が分からない子どもたちが数多くいることから、学校内トイレの洋式化を計画的に改修していく。 ③三郷小学校の教室ドアの劣化が著しく、安全確保のため、引き続き取替修繕を行う必要がある。 ④三郷北小学校の児童増加に伴い、教室等を確保する必要がある。 <p>【新たな課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①小学校における空調設備の早期設置の検討。 ②ICT機器の導入が進み、校内ネットワーク環境の再整備が必要となることから、既設設備を活用した拡張工事等を行う必要がある。 																																									

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①経年に伴う改修・補修がこれまで以上に必要になることから、財政状況を勘案しながら、随時、整備を進める。 ②三郷小学校のトイレ洋式化を平成30年度までの2カ年計画で実施。 ③三郷小学校の教室レール式ドア取替修繕を平成28年度に引き続き実施。 ④旧三郷北小学校放課後児童クラブ設置箇所に特別教室を増築。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①国庫補助金などを活用し、小学校における空調設備設置工事を実施。 ②ICT推進担当の総務課と連携・協議しながら、校内ネットワーク環境の再整備に向けた工事を実施。 	
------------	--	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<p><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 ※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p><input type="checkbox"/> 見直し (内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も財政状況を勘案しつつ、緊急性・優先性を考慮し、必要な整備を進める。 ・平成29年度は、三郷小学校では教室レール式ドア取替修理及びトイレ洋式化工事、三郷北小学校ではプールの修繕工事などを実施する。 ・三郷中学校建替事業については、平成31年2月の竣工を目標に整備を進める。
--------------	---

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	②教職員研修の充実	担当課名	学校教育課 南畑幼稚園	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	・子どもたちが健やかに成長できるよう、また、きめ細やかな指導で学力の向上を図るよう、県など関係機関との連携協力により研修を実施し、教職員の資質向上に努めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>○小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者の教諭に対し、1年間の研修を実施して実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。県の研修に加え、生駒郡地教委主催で年2回研修を実施する。 ・発達障害等で特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒に対する総合的な支援体制の充実を図るため、生駒市と生駒郡が合同で研修会を実施する。 ・ICT教育機器の整備に向け、機器メーカーによるデモンストレーションなどICTを活用した指導方法の研修会を実施する。 <p>○幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡幼児教育研究会及び奈良県幼児教育研究会において、幼児一人ひとりへのきめ細やかな対応を学び保育内容の充実を図るため各種研修会を行う。 ・幼稚園教員研修及び特別支援教育研修を随時行い、幼稚園教育と小学校教育との円滑なつながりを図り、幼小連携をより充実させるとともに、教員の資質向上を図る。 ・幼児期教育、小学校教育及び中学校教育との円滑なつながりを図り、幼保小中連携をより充実させるための研修会を行う。 <p>◎県実施研修への参加【県費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県が実施する各種教職員研修に積極的な参加を促す。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○小中学校</p> <p>【初任者研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修対象者 7人 ①第1回生駒郡地教委主催初任者研修(参加者7人) 内容 フィールドワークや体験活動等を通して、三郷町の歴史と文化について見識を深めるとともに各自の人権意識を高める。 ②第2回生駒郡地教委主催初任者研修(参加者7人) 内容 授業力を向上させるための工夫等について、情報の発信と交流の重要性を体験的に学ぶ。生徒指導上の課題を解決するための手立てについて考える。 <p>【特別支援教育研修会】</p> <p>期日 平成28年8月19日(金) 場所 生駒市たけまるホール 内容 講演会「合理的配慮とインクルーシブ教育システムについて」 参加人数：三郷町から17人</p> <p>○幼稚園</p> <p>【生駒郡幼児教育研究会・奈良県幼児教育研究会】</p> <p>内容 全体研修(講演)、各種部会研修(実践事例による研究協議)、特別支援教育部会(研修講義など)、公開保育</p> <p>回数 全体研修：郡2回、県2回 部会研修：(教育課程部会) 郡4回、県1回 (放送教育部会) 郡4回、県3回 (特別支援教育部会) 郡3回、県3回 公開保育：郡1回、県1回</p> <p>【幼稚園教員研修】</p> <p>①園内研修及び新任研修 内容 外部講師による保育内容の点検及び指導と特別支援教育に関する指導助言。 回数 年間10回</p> <p>②職員研修 内容 保育終了後、幼児への理解を深めるために職員研修を実施し、保育内容等や環境づくりについての検討や教員の役割についての共通理解に努めた。 回数 年間を通じておおよそ月2~3回</p> <p>※その他、随時公開保育を行い、初任者の指導内容の充実を図った。</p> <p>◎県実施研修への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修への参加 参加人数：7人 ・教職経験に応じたステージ別研修及び職務や今日的課題等に対応した研修への参加 参加人数：61人(幼稚園7人、三小16人、北小27人、三中11人)
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡地教委主催の初任者研修では、授業展開や学級経営の仕方、児童・生徒との接し方等の実践的なものであり、日常の学校教育活動に活かされている。また、各自の実践をプレゼンテーションすることで情報の発信と交流の重要性について学んだ。【成果指標①】 ・特別支援教育研修会では、三郷町からの参加者は昨年度からは3名の減となったが、特別支援教育コーディネーター研修会を開催し、その内容をコーディネーターから全職員へ伝達した。【成果指標②】 ・ステージ別研修には、幼小中全教職員数137人中、約44%の教職員61人が受講し、講座数は延べ90講座であった。【成果指標④】 ・ICT教育研修については、機器のデモンストレーション及び指導方法の研修会を行い、ほぼ全教職員が参加。電子黒板や書画カメラの使い方を学んだ。【成果指標⑤】 <p>○幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡幼児教育研究会・奈良県幼児教育研究会では、各市町村の情報交換及び実践交流の場となり、研究協議の中から取り組みの反省と評価ができた。【成果指標③】 ・幼稚園教員、特別支援教育研修会では、講師の講評の中から保育内容について改善するポイントを見出すことができた。また、特別支援を必要とする幼児の対応について、療育との連携により、職員間で学び合い共通理解を深めることができた。 <p>○教員研修における人権教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員自身の人権感覚・意識を高めるとともに、子ども達一人ひとりを大切にする教育活動に役立てた。また、その他関係機関・団体の各種研修会にも参加した。
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)
	①初任者研修		研修回数(町実施)	回	2	2
②特別支援教育研修会		参加人数	人	20	17	H26 H27
③生駒郡幼稚園教育研究会・奈良県幼稚園教育研究協議会		研修回数	回	23	24	H26 H27
④ステージ別研修		参加人数	人	46	61	H26 H27
⑤ICT教育研修		研修回数	回	3	3	H26 H27

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①幼保小中連携については、それぞれの校種の違いによる教育内容や指導方法等、子どもたちが学校生活の変化に対応できるよう、各校種相互の現状理解と適切な指導が教員に求められる。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①電子黒板・タブレットPCの導入に伴い、授業における機器の効果的な活用が教員に求められる。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①幼保小中連携については、幼稚園教育、小学校教育及び中学校教育との円滑なつながりを図るため、教員相互の情報交換が重要である。また、研究授業等、校種を超えた研修などを通じて、子どもの成長を支援する取り組みを検討する。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①ハード面の整備をさらに進めていくと同時に、ICT支援員と連携しながらICTを活用した指導方法を教員研修に取り入れていくことを検討する。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
・今後も研修内容を精査しながら、教職員の資質向上を図る。		

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	③就園・就学の支援	担当課名	学校教育課	教育大綱位置づけ	I「子育てなら三郷町」
基本方向	・経済的理由により、教育の機会均等が損なわれることがないように、各種補助事業を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	◎小中学校就学援助【国庫補助事業】 ・経済的な理由等によって、子どもたちの就学が妨げられることのないよう、学用品費や学校給食費などを援助する。 ◎幼稚園就園奨励費補助金【国庫補助事業】 ・保護者負担の軽減及び公立・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るとともに、幼稚園教育の普及充実を図るため、私立幼稚園への就園奨励費補助金を交付する。 ◎育英振興助成金 ・町内在住の中学校卒業生で、経済的な理由で高等学校等への進学が困難な生徒に対し、新入学に際して要した経費の一部を助成する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	◎小中学校就学援助【国庫補助】 【要保護児童生徒就学援助費】				
	学校名	認定者(人)	就学援助費(円)	※修学旅行費のみ	【要保護児童生徒就学援助費国庫補助金】 補助金額(円)
	三郷小学校	13	78,153		132,000
	三郷北小学校	0	0		※三郷小学校 39,000円 三郷中学校 93,000円
	三郷中学校	10	186,181		
	合計	23	264,334		
	【準要保護児童生徒就学援助費】				
	学校名	認定者(人)	就学援助費(円)	給食費(円)	援助費合計(円)
	三郷小学校	67	1,346,899	2,706,970	4,053,869
	三郷北小学校	42	938,605	1,776,000	2,714,605
	三郷中学校	74	3,924,698	3,301,200	7,225,898
	合計	183	6,210,202	7,784,170	13,994,372
	◎幼稚園就園奨励【国庫補助】				
	・町内に在住し、私立幼稚園に就園する満3歳児及び3歳児から5歳児の保護者を対象に、所得に応じて補助金を交付。				
	園児区分※	受給者(人)	就園奨励費(円)		補助金額(円)
	満3歳児	1	62,200		7,194,000
	3歳児	67	8,670,800	※ 満3歳児：H25.4.2～H26.4.1生まれ	
	4歳児	50	6,562,500	3歳児：H24.4.2～H25.4.1生まれ	
	5歳児	64	8,199,700	4歳児：H23.4.2～H24.4.1生まれ	
	合計	182	23,495,200	5歳児：H22.4.2～H23.4.1生まれ	
	◎育英振興助成金				
	新入学に際して保護者等が負担した経費（授業料を除く。）のうち、学校区分に応じて、公立は3万円、私立は5万円を上限として助成金を支給。				
	学校区分	認定者(人)	助成額(円)		
	公立	13	390,000		
	私立	6	300,000		
	合計	19	690,000		

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助は、小中学校合わせて206名を認定(認定率12.1%)し、前年度に比べ20名減となった。【成果指標①】 ・幼稚園就園奨励費の受給者数は、前年度より7名減の182名。国の要綱改正に合わせ、町の補助額を引き上げたが、受給者数の減により幼稚園就園奨励費の給付総額は前年度より減となった。【成果指標②】 ・平成28年度より開始した育英振興助成金については、19名(公立13名・私立6名)の高校進学者に対し、入学に要した費用の一部を助成。【成果指標③】
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)
	①小中学校就学援助		認定者数	人	226	206
認定率			%	12.9	12.1	H27 H28
②私立幼稚園就園奨励費補助		受給者及び減免者数	人	189	182	H27 24,058,000 H28 23,495,200
						認定者数

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①幼稚園就園奨励費用の保護者負担に係る制度間格差及び公立・私立間格差を解消する。 ②町立以外の小中学校へ通う子どもたちの就学援助受給認定者が若干増加している現状を踏まえ、制度の周知方法の検討が必要である。
	<p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①就学援助のうち、新入学に際して要する経費への援助については、入学準備期間等を考慮した支給時期の検討が必要である。 ②育英振興助成金については、創設から間がないことから、より一層、制度の周知方法を検討する必要がある。

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「子ども・子育て支援制度」における保護者への段階的な負担軽減策として、平成28年度は主に多子世帯への保育料の軽減措置が拡充され、それに伴い幼稚園就園奨励費補助金国庫補助金の基準額が引き上げられた。本町においても保護者負担に係る制度間格差及び公立・私立間格差の解消を主な目的として、主に多子世帯における就園奨励費補助金の額を引き上げる改正を実施した。 ②就学援助の制度については、町立以外の小中学校に通っている児童の世帯も含め、すべての対象者に認識されるよう、町ホームページに掲載するなど、引き続き周知方法の工夫を図る。
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①就学援助における入学に際して要する経費の交付については、入学前の準備等に係る保護者負担についても軽減を図れるよう、前倒し支給を行っている近隣市町村を参考にしながら、新入学に際して要する経費の事前支給を実施する。 ②育英振興助成金に関する案内を中学校3年生の保護者に対し直接郵送することにより、保護者が当該制度を確実に認識できるように努める。

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持 <p>※事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・育英振興助成金について、制度の認知が定着するまでは、就学援助受給世帯等、予め制度の対象となることが判明している世帯に対して直接教育委員会事務局より申請勧奨を行う等、周知方法の検討が必要である。 ・就園奨励費の国庫補助限度額が毎年引き上げられていることから、本町においても国の限度額に合わせて引き上げ及び拡充している。今後も国に合わせ、引き続き制度の拡充を行っていく。 ・就学援助の制度周知については、案内文書発送のみならず、広報誌や町ホームページの活用など周知方法を検討する。

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	④特別支援教育の推進	担当課名	学校教育課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	・学校教育において、特別に支援を要する幼児・児童・生徒について、誰もがともに学べる「なかまづくり」の教育と体制の整備を進めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児・児童・生徒一人ひとりの教育ニーズを把握し、子ども達の持っている力を高め、生活や学習上の課題を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う特別支援教育を推進する。 ○教育相談 <ul style="list-style-type: none"> ・就学前の幼児を持つ保護者に対し、障がい等の状況に応じた適切な教育が受けられるよう教育相談を行う。 ○特別支援教育担当者連絡会 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の連携を目的に、情報交換や就学指導のあり方を検討するため、定期的に担当者連絡会を開催。 ○特別支援教育就学奨励費【国庫補助】 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級在籍児童・生徒の保護者に対し、その経済的負担の軽減を図るため、世帯の所得額が一定額以下である場合、学用品費や学校給食費などの一部を援助する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援を必要とする幼児・児童・生徒を支援するため、町費による臨時講師等（常勤・非常勤）を各学校に配置した。 【配置講師数】 <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr><td>南畑幼稚園</td><td style="text-align: right;">3人</td></tr> <tr><td>三郷小学校</td><td style="text-align: right;">5人</td></tr> <tr><td>三郷北小学校</td><td style="text-align: right;">6人</td></tr> <tr><td>三郷中学校</td><td style="text-align: right;">3人</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">17人</td></tr> </table> ○教育相談の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・就学前の幼児を持つ保護者を対象に、平成28年7月に斑鳩町中央公民館において生駒郡合同の教育相談会を行った。 【相談人数】 <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr><td>三郷小学校区</td><td style="text-align: right;">6人</td></tr> <tr><td>三郷北小学校区</td><td style="text-align: right;">5人</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">11人</td></tr> </table> ○特別支援教育担当者連絡会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の充実を図るため、情報交換と小中学校の連携を図る場として、平成21年度から小中学校の特別支援担当教員及び教育委員会事務局担当者による連絡会議を立ち上げ、平成28年度においても定期的に連絡会を開催した。（年間4回開催） ○特別支援教育就学奨励費(国庫補助の交付) <ul style="list-style-type: none"> 【就学奨励費認定者数】 <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr><td>三郷小学校</td><td style="text-align: right;">13人</td></tr> <tr><td>三郷北小学校</td><td style="text-align: right;">25人</td></tr> <tr><td>三郷中学校</td><td style="text-align: right;">9人</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">47人</td></tr> </table> ※平成28年度決算額：1,761,349円（補助額 860,000円） <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr><td>（内訳）三郷小学校</td><td style="text-align: right;">412,419円</td></tr> <tr><td>三郷北小学校</td><td style="text-align: right;">859,190円</td></tr> <tr><td>三郷中学校</td><td style="text-align: right;">489,740円</td></tr> </table> 	南畑幼稚園	3人	三郷小学校	5人	三郷北小学校	6人	三郷中学校	3人	合計	17人	三郷小学校区	6人	三郷北小学校区	5人	合計	11人	三郷小学校	13人	三郷北小学校	25人	三郷中学校	9人	合計	47人	（内訳）三郷小学校	412,419円	三郷北小学校	859,190円	三郷中学校	489,740円
南畑幼稚園	3人																														
三郷小学校	5人																														
三郷北小学校	6人																														
三郷中学校	3人																														
合計	17人																														
三郷小学校区	6人																														
三郷北小学校区	5人																														
合計	11人																														
三郷小学校	13人																														
三郷北小学校	25人																														
三郷中学校	9人																														
合計	47人																														
（内訳）三郷小学校	412,419円																														
三郷北小学校	859,190円																														
三郷中学校	489,740円																														

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒が年々増加しているため、県の配置基準に加えて、町費による講師を各学校に配置。平成28年度は、三郷小学校に常勤5人、三郷北小学校に常勤6人、三郷中学校に常勤3人、南畑幼稚園に常勤2人・非常勤1人の計17人を配置した。【成果指標①】 就学前の相談では、保護者の就学に対する不安を解消するため、事務局と特別支援担当の教員が相談を行うことにより、園での生活の仕方や専門機関への斡旋等、幼児の現状に応じたアドバイスができた。平成28年度の相談件数は、昨年度より18件少なく、大幅減となった。【成果指標②】 特別支援教育担当者連絡会議は、年間4回開催し、幼保小中学校間の情報交換との連携を図った。【成果指標③】 特別支援教育就学奨励費について、受給者が1名増となったが、ほぼ昨年度並みの決算額となった。【成果指標④】
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)
	①特別支援教育の推進	配置講師数	人	18	17	H27 39,826,873 H28 44,034,210
②教育相談	相談人数	人	29	11	H27 H28	
③特別支援教育担当者連絡会	開催回数	回	4	4	H27 H28	
④特別支援教育就学奨励費	認定者数	人	46	47	H27 1,769,161 H28 1,761,349	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①年々、特別支援を必要とする園児・児童・生徒が増加していると共に、個別の教育的ニーズも多様化している。また、授業内容や子どもたちの体調等により、別室において適切な支援が必要となる機会が増えてきていることから、その対応を検討する必要がある。 ②年々増加傾向にある特別支援学級入級者数に比例して、特別支援教育就学奨励費の認定者も増えている。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①就学前教育相談については、生駒郡の合同教育相談のみならず、町においても気軽に相談できる体制づくりが必要である。
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①増加傾向にある特別支援を必要とする園児・児童・生徒に対して、指導・支援ができる教室及び教員等の人的確保を行うと共に、教員の専門性を向上させ、個別の教育的ニーズに応える多様で柔軟な体制を構築する。 ②特別支援教育就学奨励費について、今後も認定者の増加に対応し得る予算を確保する。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生駒郡の合同教育相談の周知方法や合同教育相談以外の方法での教育相談体制を検討する。
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<p><input type="checkbox"/> 現状維持 ※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 見直し (内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児を含めて子どもたちや保護者等の実態及び状況の変化に対応し、総合的なサポート体制を確立する。 ・特別支援教育就学奨励費については、今後の認定者の増加を見込んだ予算措置を行う。
--------------	---

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑤情報・国際教育の推進	担当課名	学校教育課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・校内におけるLANの整備を進めるとともに、教育用コンピュータの充実に努めます。 ・生きた外国語の学習や異文化への理解を養うため、ALT制度の充実に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>○校内LAN・教育用コンピュータの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校については平成19年度に、中学校については平成21年度に整備した教育用コンピュータ及び校内LANを活用し、積極的に情報教育を推進する。 <p>○ICT[※]教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校にICT教育機器を導入し、授業で効果的に活用できる環境整備を行う。 <p>○ALT[※]派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きた外国語の学習や異文化への理解を養うため、各小中学校へALTの派遣を行う。 ・南畑幼稚園においても、幼児期からの国際理解や英語教育を図るため、ALTとの交流会を行う。
---------	---

※ICT: Information and Communication Technologyの略語。情報通信技術。

※ALT: Assistant of Language Teacherの略語。学校で外国語授業の補助を行う外国語指導助手。

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○教育用コンピュータ等の設置状況				
		設置台数(台)			
	種類	三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校	合計
	サーバ	1	1	2	4
	クライアントPC(デスクトップ)	20	15	42	77
	クライアントPC(ノート)	1	6	6	13
	プリンタ	10	10	7	27
	プロジェクタ	1	1	3	5
		三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校	
	整備年度	平成19年度	平成19年度	平成21年度	
設置場所	南館2階パソコンルーム	北館2階コンピュータ教室	B棟4階コンピュータ室		
LAN [※] 整備	各教室	各教室	各教室		
※LAN: Local Area Networkの略語。特定の場所や同一組織内での情報通信ネットワーク。					
	○ICT教育の推進				
	・平成28年度2学期から、町立小中学校に電子黒板・書画カメラ及びタブレットPCを導入。				
	三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校		
電子黒板	7台	7台	22台		
書画カメラ	7台	7台	22台		
タブレットPC	70台	70台	80台		
	・円滑にICT教育機器を利用した授業を開始できるよう、ICT支援員を配置。				
	○ALT派遣				
	・年間を通じて三郷中学校に1名、各小学校及び幼稚園に1名、計2名のALTを派遣し、英語学習・異文化理解等の活動を実施。活動時間等は下表のとおり。				
	対象	クラス数(A)	年間時間数(時間)(B)	合計時間数(時間)(A)×(B)	
三郷中学校	1年生	5	35	595	
	2年生	6	35		
	3年生	6	35		
三郷小学校	5年生	3	35	210	
	6年生	3	35		
三郷北小学校	5年生	3	35	245	
	6年生	4	35		
南畑幼稚園	年中～年長	1	8	8	
合計		31	253	1,058	

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○教育コンピュータの設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成19年度から平成21年度で、パソコン90台、周辺機器36台を新規設置し、すべての町立学校で情報教育の充実を図るための環境が整った。 <p>○ICT教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度から平成30年度までの3カ年で電子黒板76台（三郷小学校25台、三郷北小学校29台、三郷中学校22台）、書画カメラ76台（三郷小学校25台、三郷北小学校29台、三郷中学校22台）、タブレットPC 600台（三郷小学校190台、三郷北小学校190台、三郷中学校220台）の整備を計画。その初年度（28年度）では、電子黒板36台（三郷小学校7台、三郷北小学校7台、三郷中学校22台）、書画カメラ36台（三郷小学校7台、三郷北小学校7台、三郷中学校22台）、タブレットPC220台（三郷小学校70台、三郷北小学校70台、三郷中学校80台）の整備が完了した。【成果指標②】 <p>○ALT派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度より、新学習指導要領が完全実施され、小学校5・6年生の外国語活動が必修となったことから小学校において各クラス年間35時間の派遣時間を引き続き確保。 平成23年度より中学校で1名、幼稚園・小学校で1名の合計2名体制へと変更し、前年度同様の年間計1,058時間の授業を実施した。【成果指標③】
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)
	①教育用コンピュータの整備	新PC設置済み台数 小中学校合計	台	90	90	H27 ----- H28 0
②ICT教育の推進	電子黒板・書画カメラ・ タブレットPC小中学校合計	台	/	292	H27 ----- H28 38,451,240	
③ALT派遣	ALTによる授業時間 幼稚園・小中学校合計	時間	1,058	1,058	H27 ----- H28 7,680,204	
					----- -----	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①小学校の教育用コンピュータについては、平成19年度設置以降9年が経過している。さらなる情報教育の充実を図るためにも、機器更新を検討する必要がある。</p> <p>②平成28年度にICT機器の導入を行ったが、今後ICT教育機器の活用頻度向上に向けた取り組みを検討する必要がある。</p> <p>③ICT教育機器を効果的に活用できるよう、教材や教員の研修について検討していく必要がある。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①三郷中学校は仮設校舎への引越し業務等で教職員が多忙であったため、ICT教育機器を活用した授業展開が小学校と比べやや停滞した。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①三郷小学校、三郷北小学校、三郷中学校のコンピュータについては、現在導入を進めているICT教育機器を併用した活用方策も考慮しつつ、機器の更新等について検討する。</p> <p>②全国の小・中学校のICT教育機器を活用した授業例を参考に、ICT支援員を通じてICT教育機器の活用に一層努める。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①学校でのICT支援経験が豊富なICT支援員を配置し、各学校におけるICT教育推進上の課題等を掘り上げ、ICTを効果的に活用した授業のあり方について検証していく。</p> <p>②ICT教育機器活用頻度向上に向け、ICT支援員を通じて三郷中学校の教職員に対し機器活用方法の紹介を行い、一層の有効活用を図る。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> 整備済みの校内LAN・パソコン環境を再度見直し、情報教育を推進するための環境を整える。 ALTについては、小学校の英語教科化も念頭に派遣計画を検討すると共に、児童・生徒が英語に興味を持つような指導を行えるALTを起用して事業を進めていく。 ICT教育機器の整備を進めると共に、機器等の一層の活用にも努める。 		

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑥いじめ・不登校の対策	担当課名	学校教育課	教育大綱位置づけ	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	・小中学生を対象とした専門機関によるメンタルヘルス相談や、中学校への心の相談員の配置による「いじめ」や不登校児童生徒の早期発見・早期指導の実施を継続します。 ・教職員経験者など地域の人材の参加を得ながら、多様な教育の展開ができるよう、広域的な連携を含めた支援のあり方を検討します。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>いじめ・不登校対策として、奈良県が実施するスクールカウンセラー事業を活用しながら、町独自で心の相談員を配置するとともに、専門機関にメンタルヘルス相談業務を委託し、児童生徒の悩みに対して、適切かつ迅速に対応し、児童生徒が安心して学習に取り組むことができるよう相談体制の充実を図る。</p> <p>◎スクールカウンセラー活用事業【県費】 いじめや不登校などの対策として、学校におけるカウンセリング機能を強化するため、臨床心理士などの資格を持ったスクールカウンセラーを中学校に配置する。</p> <p>○心の相談員 生徒の悩み・不安・ストレスに対し、気軽にカウンセリングできる心の相談員を中学校に配置する。</p> <p>○メンタルヘルス相談 園児及び小中学生とその関係者のメンタル面での相談業務を専門機関に委託し、健やかな心身の保持増進に努める。</p> <p>○不登校対策連絡会 町立の小中学校における不登校問題を総合的に検討し、不登校の防止及び指導に努め、児童及び生徒の健やかな育成を推進する。</p>
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>◎スクールカウンセラー活用事業【県費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三郷中学校へ1人配置 年間勤務日数 18日 相談ケース数 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr><td>①児童生徒</td><td>: 35回</td></tr> <tr><td>②保護者</td><td>: 0回</td></tr> <tr><td>③教職員</td><td>: 1回</td></tr> <tr><td>合計</td><td>: 36回</td></tr> </table> 主な相談内容 不登校への対応、学校生活、友人関係など ※児童生徒へのカウンセリングのほか、教職員などへの助言も行った。 ※その他、全校生徒を対象にストレスチェックのアンケートを実施。 <p>○心の相談員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三郷中学校へ1人配置 年間勤務日数 118日 相談ケース数 360回 主な相談内容 不登校問題、学校生活全般、本人に関わる問題など <p>○メンタルヘルス相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児、児童生徒、保護者及び教職員の相談に対応するため、ハートランドしぎさんに相談業務を委託し、専門機関による相談を行った。 相談ケース数 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr><td>①園児児童生徒</td><td>: 24回</td></tr> <tr><td>②保護者</td><td>: 67回</td></tr> <tr><td>③教職員</td><td>: 60回</td></tr> <tr><td>合計</td><td>: 151回</td></tr> </table> ※延べ回数で計上。 <p>○不登校対策連絡会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校の児童生徒の実態把握と情報の共有、その後の現況報告並びに対応について協議・検討を行った。 年間開催回数 11回 <p>○不登校を語る保護者の集い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度は生駒郡教育長会の事業として3回実施。天理大学大学院教授から、保護者に様々な助言がなされた。 主な内容 <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童の保護者の交流及び悩みの共有。 ・不登校児童の保護者へのアドバイス。 参加人数 16人 ※延べ人数 	①児童生徒	: 35回	②保護者	: 0回	③教職員	: 1回	合計	: 36回	①園児児童生徒	: 24回	②保護者	: 67回	③教職員	: 60回	合計	: 151回
①児童生徒	: 35回																
②保護者	: 0回																
③教職員	: 1回																
合計	: 36回																
①園児児童生徒	: 24回																
②保護者	: 67回																
③教職員	: 60回																
合計	: 151回																

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度の不登校児童生徒数は、対前年度比8人減の21人であった。 (不登校：年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの) いじめや不登校、その他生徒の抱える問題が多様化してきた中で、 <ul style="list-style-type: none"> ①専門的なカウンセリングができるスクールカウンセラーの配置【成果指標①】 ②生徒の悩みを気軽に相談できる「心の相談員」の配置【成果指標②】 ③専門機関での相談を行うためのメンタルヘルス相談業務の委託【成果指標③】 を実施し、生徒の状況に応じた相談を行った。 中学校では、全校生徒を対象に「ここからだのアンケート」を年2回実施した。中学校のカウンセラーが、各学年の気になる生徒に関して各学年の相談担当教師と情報交換を密にし、スムーズな相談の継続ができるように工夫した。ストレス度が高い生徒に関しては、担任や教育相談部から声をかけることで定期的なカウンセリングにつなげることができ、生徒の間でも相談室が「いつでも話ができる場所」としての認識がより広まった。 小学校においては、児童の悩み等を教員が親身になって相談に乗り、必要に応じてメンタルヘルス相談を紹介し、専門機関での相談へと引き継ぐ体制をとることで、早期解決につなげる体制もできている。 「心の相談員」の相談回数が増加している要因としては、相談員がいることを生徒の間で認識が広まり、気軽に相談できる雰囲気作られ、早期段階での生徒の悩み等解消に向けた教員と相談員との連携が取れたことが挙げられる。また、保護者からの相談に対しても、カウンセラー等に相談しやすい状況が作られたことで、教員が余裕をもって関わることもできたこと、夏休みにも相談を行ったことが挙げられる。 メンタルヘルス相談回数は、対前年度比23件減の151件となった。相談回数は減少しているものの、保護者による相談回数はほぼ前年度並であることから、保護者の相談窓口としても十分に機能しているものと考えられる。 「不登校対策連絡会」では、不登校の児童及び生徒の実態把握、指導体制の整備、家庭との連携強化について協議及び検討を行った。【成果指標④】
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)
	①スクールカウンセラー(県費)	相談回数	回	42	36	H27 H28
②心の相談員	相談回数	回	241	360	H27 1,982,680 H28 2,078,060	
③メンタルヘルス相談業務委託	相談回数	回	174	151	H27 ※ 1,140,000 H28 570,000	
④不登校対策連絡会	開催回数	回	7	11	H27 1,787,049 H28 2,544,568	

※2か年分の支払額

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①不登校児童・生徒などを孤立させない対策として、不登校対策連絡会を引き続き実施するとともに、通学支援・学習支援を継続していく必要がある。 ②カウンセラーや相談員は中学校に配置されていることから、小学校でのケースにも充分対応できるような体制づくりを検討する。
	<p>【新たな課題】</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①不登校対策については、2人の指導主事が専属体制で取り組みの強化を図っている。また、教育委員会及び学校関係者や要保護児童対策地域協議会、行政関係機関等との連携・協力のもと、的確な対策を検討する。 ②ケースに応じてカウンセラーや相談員を小学校にも派遣する等、柔軟な対応を検討する。
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も不登校問題をはじめ、児童・生徒のさまざまな課題に対応するため、相談体制の充実を図るとともに、状況に応じてスクールソーシャルワーカー等の活用も行っていく。 不登校対策として専属配置する指導主事を状況に応じて増員するなど、不登校対策の取り組みを更に充実させていく。また、保護者同士のつながりを深める支援を行っていく。

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑦地域の教育力の向上	担当課名	教育総務課・学校教育課・生涯学習課	教育大綱	Ⅱ「教育なら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 地域と学校が協力しながら、地域の文化や人材を活かした体験学習を継続します。 まち全体が学びの場となるまちづくりをめざして、子どもたちの学習に提供できる場所や資源などの掘り起こしとネットワークの体制強化を図ります。 学校の環境美化や緑化推進活動などについて、各種団体や地域ボランティアの参加協力を得られるように体制の構築を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>◎子ども人権学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て意識の低下など、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、子どもの様々な活動を支援する事業を実施し、地域の教育力の向上を図る。 各小中学校において、地域ボランティアの指導のもと、和太鼓、調理実習、ゲートボールなどさまざまな体験学習を実施する。 <p>◎学校支援地域本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的に、学校が必要とする活動に関わるボランティアを地域から募り、学校における環境整備や教育活動の支援をする。 <p>◎上記2事業が県補助事業（学校・地域連携事業）の対象であることから、本補助制度を活用し、各種事業を実施。</p>
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	◎子ども人権学習支援事業																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動名称</th> <th>学校名</th> <th>登録人数</th> <th>実施回数</th> <th>活動内容</th> <th>担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>どんどん和太鼓</td> <td>三郷中学校</td> <td>14人</td> <td>29回</td> <td>和太鼓の演奏</td> <td>生涯学習課</td> </tr> <tr> <td>クッキングクラブ</td> <td>三郷中学校</td> <td>5人</td> <td>8回</td> <td>調理実習</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>多聞クラブ</td> <td>三郷小学校</td> <td>21人</td> <td>15回</td> <td>ゲートボール体験</td> <td>学校教育課</td> </tr> <tr> <td>ふれあいクラブ</td> <td>三郷小学校</td> <td>30人</td> <td>17回</td> <td>和太鼓の演奏</td> <td>学校教育課</td> </tr> <tr> <td>親子で遊び隊</td> <td>三郷小学校</td> <td>33人</td> <td>1回</td> <td>デイキャンプ</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>にこやかクラブ</td> <td>三郷北小学校</td> <td>15人</td> <td>13回</td> <td>手話コーラス</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>つながり学級</td> <td>三郷北小学校</td> <td>52人</td> <td>6回</td> <td>睡入スポーツ、お茶、ものづくりなど</td> <td>生涯学習課</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各活動の指導には、地域住民や各種団体の協力を得た。</p>	活動名称	学校名	登録人数	実施回数	活動内容	担当課	どんどん和太鼓	三郷中学校	14人	29回	和太鼓の演奏	生涯学習課	クッキングクラブ	三郷中学校	5人	8回	調理実習	教育総務課	多聞クラブ	三郷小学校	21人	15回	ゲートボール体験	学校教育課	ふれあいクラブ	三郷小学校	30人	17回	和太鼓の演奏	学校教育課	親子で遊び隊	三郷小学校	33人	1回	デイキャンプ	教育総務課	にこやかクラブ	三郷北小学校	15人	13回	手話コーラス	教育総務課	つながり学級	三郷北小学校	52人	6回	睡入スポーツ、お茶、ものづくりなど	生涯学習課
	活動名称	学校名	登録人数	実施回数	活動内容	担当課																																											
	どんどん和太鼓	三郷中学校	14人	29回	和太鼓の演奏	生涯学習課																																											
クッキングクラブ	三郷中学校	5人	8回	調理実習	教育総務課																																												
多聞クラブ	三郷小学校	21人	15回	ゲートボール体験	学校教育課																																												
ふれあいクラブ	三郷小学校	30人	17回	和太鼓の演奏	学校教育課																																												
親子で遊び隊	三郷小学校	33人	1回	デイキャンプ	教育総務課																																												
にこやかクラブ	三郷北小学校	15人	13回	手話コーラス	教育総務課																																												
つながり学級	三郷北小学校	52人	6回	睡入スポーツ、お茶、ものづくりなど	生涯学習課																																												
◎学校支援地域本部事業																																																	
<ul style="list-style-type: none"> 学校支援地域本部事業は平成20年度から3年間の文部科学省委託事業としてスタートしたが、平成23年度以降は県の補助事業として町で実施。 ボランティアの登録人数は増加しており、各活動への参加児童・生徒も増加傾向にある。 <p><主な活動実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>緑化推進活動、朝の登校見守り、運動会準備、卓球・輪車クラブ支援、図書支援、新1年生の下校安全見守り、本の読み聞かせ、パソコン学習支援、昔遊び、英語学習支援、校区探検、陸上記録会練習、家庭科実習(被服・調理)支援、音楽会楽器指導補助、平和学習支援、多聞写清掃など</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>緑化推進活動、わくわく農園・ケーブルカーの開放、施設管理、図書支援、新1年生の下校安全見守り、昔遊び、本の読み聞かせ、英語学習支援、校区探検、パソコン学習支援、そろばん支援、和楽器の鑑賞・体験、家庭科実習(被服・調理)支援、田植え・稲刈り支援、平和学習支援など</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>家庭科実習(被服)支援、図書支援、花壇への灌水など</td> </tr> </tbody> </table> <p><ボランティア登録人数></p> <ul style="list-style-type: none"> 個人登録：146人 団体登録：44人(6団体) 合計：190人(前年度比8人増) <p><その他></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>開催場所</th> <th>開催日</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>天体観測会</td> <td>保健センター前</td> <td>8月10日(水)</td> <td>26人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ボランティア給食会</td> <td>三郷北小学校</td> <td>1月13日(金)</td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>1月31日(火)</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※天体観測会は、学校支援ボランティア間の交流及び情報交換の場として実施。例年、冬季に実施していたが、平成28年度は夏の星座に着目し、夏季に実施。</p> <p>※給食会は、学校支援地域本部事業「昔遊び」と日程を合わせ、学校支援ボランティアと子ども達との交流も目的に実施。</p>	学校名	活動内容	三郷小学校	緑化推進活動、朝の登校見守り、運動会準備、卓球・輪車クラブ支援、図書支援、新1年生の下校安全見守り、本の読み聞かせ、パソコン学習支援、昔遊び、英語学習支援、校区探検、陸上記録会練習、家庭科実習(被服・調理)支援、音楽会楽器指導補助、平和学習支援、多聞写清掃など	三郷北小学校	緑化推進活動、わくわく農園・ケーブルカーの開放、施設管理、図書支援、新1年生の下校安全見守り、昔遊び、本の読み聞かせ、英語学習支援、校区探検、パソコン学習支援、そろばん支援、和楽器の鑑賞・体験、家庭科実習(被服・調理)支援、田植え・稲刈り支援、平和学習支援など	三郷中学校	家庭科実習(被服)支援、図書支援、花壇への灌水など	内容	開催場所	開催日	参加人数	天体観測会	保健センター前	8月10日(水)	26人	ボランティア給食会	三郷北小学校	1月13日(金)	57人	三郷小学校	1月31日(火)	20人																										
学校名	活動内容																																																
三郷小学校	緑化推進活動、朝の登校見守り、運動会準備、卓球・輪車クラブ支援、図書支援、新1年生の下校安全見守り、本の読み聞かせ、パソコン学習支援、昔遊び、英語学習支援、校区探検、陸上記録会練習、家庭科実習(被服・調理)支援、音楽会楽器指導補助、平和学習支援、多聞写清掃など																																																
三郷北小学校	緑化推進活動、わくわく農園・ケーブルカーの開放、施設管理、図書支援、新1年生の下校安全見守り、昔遊び、本の読み聞かせ、英語学習支援、校区探検、パソコン学習支援、そろばん支援、和楽器の鑑賞・体験、家庭科実習(被服・調理)支援、田植え・稲刈り支援、平和学習支援など																																																
三郷中学校	家庭科実習(被服)支援、図書支援、花壇への灌水など																																																
内容	開催場所	開催日	参加人数																																														
天体観測会	保健センター前	8月10日(水)	26人																																														
ボランティア給食会	三郷北小学校	1月13日(金)	57人																																														
	三郷小学校	1月31日(火)	20人																																														

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>◎子ども人権学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方や各種団体の指導のもと、世代間の交流をはじめ、子ども達が様々な体験を通して目標に向かって努力する姿勢を学ぶことができた。 <p>◎学校支援地域本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの新規登録者数は、学生登録者の学校卒業に伴う脱退等により新規登録数と脱退数が相殺されたことから、伸びは緩やかではあるが増加傾向にあり、前年度比8名の増。また、平成28年度には学校支援地域本部事業活動の写真展を開催し、ボランティア募集の啓発活動を実施した。 ・県の補助金を有効に活用し、例年実施している事業の充実及び継続はもちろんのことコーディネーター、ボランティア、学校及び事務局間の連携を密にし、様々な事業を積極的に実施した。 ・奈良学園大学人間教育学部と連携し、学生ボランティアをはじめ多くのボランティアの参加のもと、両小学校において「昔遊び」や「田植え」等、様々な活動を実施。これらの事業は、例年、子ども達にとって充実した貴重な体験授業となっている。また、教職員を目指す学生ボランティアからは、「子ども達との交流が図れ、実践的なボランティア活動ができた」と好評を博している。
-------------	--

事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)	
					H27	H28
①子ども人権学習支援事業	参加人数(延べ人数)	人	1,761	1,769	1,566,054	1,337,474
②学校支援地域本部事業	ボランティア登録人数	人	182	190	1,185,082	
	ボランティア参加人数(各学校計・延べ人数)	人	1,403	1,196	989,193	

※上記②の参加人数については、日常的なボランティア活動を含まない。

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①『子ども人権学習支援事業』…参加人数が少ない講座の募集方法及び魅力ある講座内容の検討。</p> <p>②『学校支援地域本部事業』…学校支援ボランティアの登録人数の伸び悩み及び登録人数と実稼動人数との乖離。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①『子ども人権学習支援事業』…中学校仮設校舎の諸条件等により開催場所及び時間等の制限がある中で活動展開方法。</p> <p>②『学校支援地域本部事業』…ボランティアの高齢化に伴う体力的な問題やコーディネーターの高齢者ボランティアに対する参加要請の配慮等により参加人数は減少傾向にあることから、年齢や業務の種類等に応じた人選ができるよう幅広い年齢層での人材の確保。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①『子ども人権学習支援事業』…内容の検討、刷新及び改善が必要であるが、まずは楽しく仲間とやり遂げる達成感を感じる雰囲気作りを目指した。また、中学生については、部活動との兼ね合い等もあり、すべての児童・生徒が参加しやすい条件を整える必要があるため、学校(部活動)側の理解と協力を求めた。</p> <p>②『学校支援地域本部事業』…学校支援ボランティアの活動内容等を啓発するため、町のイベント開催時等に活動内容を紹介する機会を設け、募集パンフレットを配布するなどの啓発・広報活動を実施した。平成28年度に実施した「ボランティア写真展」は、啓発活動として一定の効果が見られたことから、今後も継続実施の予定。また、登録人数と実稼動人数の乖離については、各種事業への参加率の低迷もあるものの、登録後の活動参加が皆無のケースや高齢化により参加が不可能になっているケースもあることから、ボランティア活動参加に対する意向の再確認等による名簿の整理に取り組んでいる。一方、ボランティア人材の確保については、各学校のコーディネーターを中心に地域の人材発掘に努めると共に、奈良学園大学とのネットワークを利用し、新規登録者の増加を目指した。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①『子ども人権学習支援事業』…中学校仮設校舎での2年間も、これまで続けてきた事業が後退することのないよう、特に学校の協力を求め、連携を強化する。</p> <p>②『学校支援地域本部事業』…学校支援ボランティアの魅力をより多くの方に伝え、学校との連携のもと、ボランティア項目も更新し、やりがいを感じる有意義な活動を展開する。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可) (内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
<p>①『子ども人権学習支援事業』…クラブによって応募人数にばらつきがあることから、アンケートや各種調査を実施し、子ども達が「学びたいこと」や「やりたいこと」を中心に、魅力ある講座の開講をめざす。併せて、各クラブの魅力を具体的にアピールし、子ども達の関心を引く募集方法や内容を検討する。</p> <p>②『学校支援地域本部事業』…ボランティア登録者数の増加及び参加促進を最優先とし、奈良学園大学との連携など、地域の大学等を積極的に活用し、学生ボランティアの増員も図る。</p>		

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑧安全・安心の学校づくり	担当課名	教育総務課	教育大綱	I「子育てなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 学校と地域の連携を深め、「子ども見まもり隊」をはじめとした地域ぐるみの見守り活動の展開を支援し、情報交換の場の設置を図ります。 子どもの安全を守るため、パトロールや巡視などの対策を継続するとともに、不審者情報メールの配信先を拡充し、万が一の際にも迅速に対応できる体制の整備を図ります。 園児・児童に対する防犯・交通安全教室を開催し、自ら身を守ることができる教育を進めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ◎子ども情報ネットさんごう <ul style="list-style-type: none"> 子どもの安全確保を目指し、不審者情報等を登録者の携帯電話等にメール配信する。 ◎さんごう子ども見まもり隊 <ul style="list-style-type: none"> 学校と地域の連携により、自治会を中心とした住民ボランティアの方々にご協力いただき、登下校時の通学路で見守りを行う。 上記にあわせて小学校の下校時に安全巡視員を通学路に配置(シルバー人材センター委託)し、更に多くの目で見守ることで、児童の安全確保を図る。 ◎青色防犯パトロール <ul style="list-style-type: none"> 小中学校の下校時にあわせて、町内を巡回する青色防犯パトロールを実施する。 ◎防犯・交通安全教室 <ul style="list-style-type: none"> 警察の協力により、小学校及び幼稚園において、防犯・交通安全教室を開催する。 ◎子ども110番の家(環境政策課) <ul style="list-style-type: none"> 子どもが犯罪などの被害に遭った、または遭いそうになり助けを求めたとき、子どもを保護し、関係機関へ連絡するなどして、子どもの安全を守る。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	◎子ども情報ネット配信状況	<table border="1"> <thead> <tr> <th>不審者内容</th> <th>配信件数</th> <th>うち町内件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>声掛け</td><td>5</td><td>3</td></tr> <tr><td>つきまとい</td><td>6</td><td>6</td></tr> <tr><td>露出</td><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>痴漢</td><td>11</td><td>6</td></tr> <tr><td>盗撮</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>傷害・犯罪</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>不審電話</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>合計</td><td>26</td><td>18</td></tr> </tbody> </table>	不審者内容	配信件数	うち町内件数	声掛け	5	3	つきまとい	6	6	露出	3	3	痴漢	11	6	盗撮	0	0	傷害・犯罪	0	0	不審電話	0	0	その他	1	0	合計	26	18	<p>【配信内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 三郷町及び近隣町で発生した子どもに関わる事件や不審者情報を登録者へメール配信する。 <p>【メール登録人数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童や生徒の保護者、各種団体・関係機関の関係者などあわせて845人。(平成29年3月末現在)
	不審者内容	配信件数	うち町内件数																														
声掛け	5	3																															
つきまとい	6	6																															
露出	3	3																															
痴漢	11	6																															
盗撮	0	0																															
傷害・犯罪	0	0																															
不審電話	0	0																															
その他	1	0																															
合計	26	18																															
◎さんごう子ども見まもり隊	<p>【見まもり隊登録団体及び登録者数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>登録団体の種類</th> <th>団体数</th> <th>登録者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>自治会等</td><td>14</td><td>182</td></tr> <tr><td>学校関係</td><td>7</td><td>115</td></tr> <tr><td>各種団体</td><td>13</td><td>171</td></tr> <tr><td>町議会</td><td>1</td><td>13</td></tr> <tr><td>教育委員会</td><td>1</td><td>5</td></tr> <tr><td>個人</td><td>-</td><td>18</td></tr> <tr><td>合計</td><td>36</td><td>504</td></tr> </tbody> </table>	登録団体の種類	団体数	登録者数(人)	自治会等	14	182	学校関係	7	115	各種団体	13	171	町議会	1	13	教育委員会	1	5	個人	-	18	合計	36	504	<p>【子どもの安全対策連絡会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域との連携及び情報交換を図る場として子どもの安全対策連絡会議を各学期ごとに年3回実施。 							
登録団体の種類	団体数	登録者数(人)																															
自治会等	14	182																															
学校関係	7	115																															
各種団体	13	171																															
町議会	1	13																															
教育委員会	1	5																															
個人	-	18																															
合計	36	504																															

◎安全巡視員の派遣

- 下校時の安全を図るため、安全巡視員(シルバー人材センター)を派遣し、各学校の下校時及び放課後児童クラブの下校時における交通指導及び巡視を行った。
 - ①三郷小学校 : 6人(うち放課後児童クラブ3人)
 - ②三郷北小学校 : 6人(うち放課後児童クラブ3人)

◎青色防犯パトロール

- 子どもの安全を守るため、小中学校の下校時にあわせて、役場全課の交代制により、町内を巡回する青色防犯パトロールを実施した。
 - ①三郷小学校校区 : 年間37回
 - ②三郷北小学校校区 : 年間38回

◎防犯教室など

- 各学校・幼稚園で防犯教室を開催。
- 新小学校1年生に、警察より防犯ブザー、防犯交通安全対策協議会よりランドセルカバーを配布。

◎子ども110番の家

- 登録世帯数: 477世帯(自治会、学校関係、各種団体など)

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町全体で子どもの安全対策に取り組んできた結果、前年度に続き平成28年度においても、子どもの生命や身体に危害を及ぼす重大な犯罪被害はなかったものの、不審者情報件数は増加傾向にある。地域住民や子ども達の危機意識の向上が犯罪被害防止に繋がっているものと考えられるが、不審者情報の配信件数から見ると、不審者の出没は明らかに増加している。平成28年度に設置した防犯カメラ(町内10箇所)も防犯及び犯人検挙の一助となっているが、地域全体の更なる防犯意識の向上と強固な連携及び協力は不可欠である。 ・幼稚園や学校では、参加型の研修として防犯教室を毎年実施しており、子どもたちの防犯と自己保身に對する意識づけの機会が提供できている。 ・信貴山麓線の延伸に伴い変更となった勢野北地区の通学路上で、特に危険度の高い交差点においては、地域住民や警察等の関係機関の見守り等の協力により、以前より子ども達が安心して通学できるようになってきているものの、ドライバーに対する注意喚起等、更なる対策を講ずる必要性はある。
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)
	①子ども情報ネット配信	メール登録者数	人	815	845	H27 64,800 H28 64,800
②子ども見まもり隊	見まもり隊登録人数(累積人数)	人	493	504	H27 0 H28 0	
③巡視委託	巡視回数(両小学校年間合計・延べ回数)	回	1,964	2,651	H27 2,506,273 H28 3,264,341	
④青色防犯パトロール	パトロール回数	回	92	75	H27 0 H28 0	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「子ども見まもり隊」の協力団体や地域による参加率等の温度差。 ②放課後児童クラブ下校時の児童の安全確保。 ③通学路歩行時の児童の安全確保はもとより危険度の高い交差点(勢野北地区等)における「子ども見まもり隊」及び地域や関係機関等のボランティアの安全確保。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「子ども見まもり隊」の登録には見守り活動中の傷害に係る保険の加入等が伴うことから、登録者の高齢化等にも鑑み、実際の活動状況を確認して名簿の整理を行う必要がある。
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「子ども見まもり隊」について、学期毎の活動報告と活動目的を関係会議において周知すると共に、自治会等に対して、より一層の協力を依頼し、地域の温度差の解消に努めた。全国的な事件の増加も危機感を煽ぐ一因ではあるが、一定の事業成果として地域の子どもの安全意識の向上は図れているものと思われる。 ②放課後児童クラブの下校時間及び見守り活動の必要性について、関係会議等において周知すると共に、町内の西和清陵高校の生徒及び保護者に対しても子ども情報ネットさんごうへの登録を依頼し、町内で被害に遭わない防犯体制の構築を図った。 ③子ども達が安全に歩行できるよう、通行量の多い通学路で、特に狭隘な道路の拡幅工事を施工。併せて、通学路の安全点検を実施。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①見守り活動の継続の是非について、本人への意向確認等の方策を早期に検討する。
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
<p>すべての事業において、地域住民及び関係機関との連携を強化。地域全体で更なる危機感を持ち、防犯意識の向上を図るため、地域の協力を求め、「犯罪をゆるさない町づくり」の基盤強化につながる事業を展開する。併せて「子ども見まもり隊」の名簿整理及び更新を実施。</p>		

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑨学校給食体制の整備	担当課名	給食センター (学校教育課)	教育大綱位置づけ	I「子育てなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校給食衛生管理基準」に基づき、学校給食における衛生管理の徹底を図ります。 ・「食育」の一環として、学校・幼稚園における給食指導を継続します。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○安全安心な学校給食 <ul style="list-style-type: none"> ・職場の衛生管理及び職員の健康管理等を行うとともに、安全安心な給食材料を使用する観点から、より多くの地場産の野菜等を使用して安全安心な学校給食を提供する。 ・職員の資質向上を図るため、県の調理員研修に参加する。 ○食育・地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通して自らの健康管理ができるようにするために、食の指導の充実を図る。 ・農業委員会の指導及び協力を得て、食育の面も含めて「教育ファーム実践事業」を推進すると共に信貴山のどか村の協力も得て、町内産の食材を使用することにより地産地消を進める。 ○給食センターの運営方法 <ul style="list-style-type: none"> ・安全でおいしい給食の提供に努めることは言うまでもなく、きめ細かな食物アレルギー対応を行うことにより、安全安心な給食の提供に努める。 ○放射能測定器による食材検査 <ul style="list-style-type: none"> ・安全な食材を使用した給食を提供するため、国の原子力災害対策本部が指定した出荷制限対象となる17都県を産地とする食材について放射能検査を実施する。 また、食品中の放射性物質に係る国の検査基準値（一般食品は100Bq/kg以下、牛乳は50Bq/kg以下）をより厳格化し、本町の検査の測定下限値をすべて40Bq/kg以下と定め、測定下限値を超えた食材は使用しないことにより、安心・安全な給食の提供に努める。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○安全安心の学校給食 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・小学校において保護者を対象とした給食試食会を実施したところ、196人が参加した。 ・安全・安心な学校給食を提供するため、できる限り国内産食材を使用し、また、地産地消の観点からも、県学校給食会推奨食品や信貴山のどか村の旬の野菜を積極的に使用した。 ・県が実施している調理員研修に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めた。 ①学校給食衛生管理指導者実技講習会（7月28日(木)）参加人数：2人 ②奈良県学校給食研究大会（8月18日(木)）参加人数：12人 ○食育・地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・食育については、各学校において「食に関する指導」の全体計画を作成し、実践。生活科・家庭科や総合的な学習の時間に「食に関する指導」や給食に関わる指導を実施した。 【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ①教科等授業時間数： 49時間 ②給食指導時間数： 18時間 ③個別指導その他： 10時間 ・「食育推進事業」として、給食センター2階研修室において住民を対象に年間10回のクッキング教室を実施した。 ・「教育ファーム実践事業」については、農業委員会の指導及び協力を得て、食育及び地産地消推進の観点から、小学生の体験授業として各小学校4年生児童が前年11月に苗付けをしたタマネギを本年度の6月に収穫した。また、11月には新たに各小学校4年生の児童がタマネギの苗付けを行った。 ○給食費の滞納状況 <ul style="list-style-type: none"> ・徴収業務として、文書による督促をはじめ、電話・家庭訪問による交渉を行い、これらに応じない滞納者に対しては、最終通知として奈良簡易裁判所への支払督促申立等を行う旨を記載した文書を送付するなど、滞納の解消に努めた結果、昨年度に引き続き滞納額が減少した。 【平成28年度末現在滞納状況】 <ul style="list-style-type: none"> ①滞納繰越額(平成21年度～平成27年度) 264,433円(12人) ②徴収額 108,900円(6人) ③平成28年度末滞納繰越額 155,533円(9人) ④平成28年度分滞納額(現年度分) 44,000円(1人) ⑤平成28年度滞納繰越額(総額) 199,533円(10人) ○新給食センターの運営方法 <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度に給食センターにおける調理・配送等業務を民間委託するため、公募型プロポーザル方式(企画提案方式)により委託業者を選定し、株式会社東洋食品に3年間(平成27年8月1日から平成30年7月31日)業務を委託している。 ・食物アレルギー対応として、卵(鶏卵・うずら卵)・乳製品(牛乳・チーズ・ヨーグルト・バター)・エビ・カニのアレルギーについては、除去食により対応。また、卵・乳製品を含むデザートに対しては代替食により対応。なお、牛乳の除去・代替(緑茶・豆乳)については、保護者の意向で対応している。 ○放射能測定器による食材検査 <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年3月1日より放射能検査測定器による食材検査を実施。 【成果指標⑥】 <ul style="list-style-type: none"> 【検査数】 1学期 113品 2学期 109品 3学期 67品 合計検査数 289品 ※放射性セシウム 不検出 (すべて、40Bq/kg以下)
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 給食試食会や食育指導事業を通じて、給食に対する理解が深められた。【成果指標①②】 給食費の滞納整理は、平成27年度末時点の滞納額264,433円が平成28年度末時点で199,533円と、対前年度比64,900円の減となり、4年連続の減となった。 徴収方法は、保護者の経済的理由により納付困難なケースも多いが、再三にわたる保護者との協議及び支払期限毎の電話による確認作業、並びに家庭訪問による交渉等を実施した。【成果指標③】 平成27年度に給食センターを建替え、調理・配送等業務を民間委託にしたことにより、高度な衛生管理が実現し、安全・安心な給食の提供が可能となったことに加えて、調理員の資質向上を図ることができた。また、食物アレルギー対応については、平成29年3月時点で13名に対応しており、安全安心な学校給食の提供が図れている。 食育・地産地消の推進を図りつつ、安全安心な学校給食を提供できた。農業委員会の黒大豆枝豆の使用や信貴山のどか村(給食食材用畑)の協力により、少しずつ町内食材地産地消率のアップに繋がっている。但し、教育ファーム実践事業によるタマネギは、全国的なべト病の影響もあり、十分に給食で提供することができなかった。【成果指標④】 食育推進事業「食育クッキング教室」を住民向けに開催することにより食育の推進を図ると共に、防災機能を有する「複合型施設」として周知することができた。【成果指標⑤】
-------------	---

	事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)	
						H27	H28
②成果指標	①給食試食会	参加人数	人	196	196	H27	H28
	②食育指導	延べクラス数	クラス	47	46	H27	H28
	③給食費の滞納整理	滞納者数(年度末)	人	12	10	H27	H28
	④食育・地産地消の推進	町内食材地産地消率	%	1.42	2.06	H27	H28
	⑤食育推進事業(食育クッキング教室)	開催回数	回	1	10	H27	H28
	⑥食品放射能測定器による食材検査	年間検査数	品	352	289	H27	H28

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①給食費の徴収については、現年度分の未収額が年々減少はしているものの毎年発生している。また、過年度分未収額も減少できるよう、滞納者への交渉等をより一層強化する必要がある。</p> <p>【新たな課題】</p> <p>①給食センター2階の調理室で実施する食育事業については、平成28年度は10回の開催となったが、平成29年度は20回の開催を目指し積極的に実施する。</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①給食費の滞納整理については、今後も継続的に実施し、学校からの働きかけはもとより、給食センターからも定期的に保護者に交渉する。 なお、過年度分の滞納については、再三の督促に応じない滞納者に対しては、奈良簡易裁判所への支払督促の申立てを行い、給食費滞納の解消に努める。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①給食センター2階の調理室で実施する食育事業については、多方面から協力を得て、より一層、多くの方に参加いただけるよう、魅力ある食育クッキング教室の開催をする。</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PPLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き地産地消を推進し、安全安心な学校給食の提供に努める。 給食費の滞納については、引き続き学校と連携・協力しながら、現年度分の未納解消に努め、再三の督促に応じない滞納者には、法的措置を講じることで滞納の解消を図る。今後も引き続き「滞納ゼロ」を目指して滞納処理に努める。 教育ファーム実践事業の推進については、今後も農業委員会の指導及び協力を得ながらタマネギの苗付けから収穫までを子ども達自身が体験し、「食」について改めて意識を高め、自然の恩恵や「食」に関わる人々の様々な活動への感謝の気持ちや理解を深めつつ、子ども達が自ら収穫したタマネギを給食食材として使用することにより、食育はもとより地産地消の推進にも繋がられるよう実施する。 食育事業については、町内住民を対象に食育クッキング教室を20回開催することを検討しており、大阪ガス㈱の協力を得て「防災」に関連した教室も実施する。

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩幼児教育の充実	担当課名	南畑幼稚園 (学校教育課)	教育大綱位置づけ	I「子育てなら三郷」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領に基づく、適切な教育課程の編成を行います。 ・幼児の心身の発達と義務教育及びその後の教育の基礎を培う幼児教育の充実に努めます。 ・地域に信頼される開かれた幼児教育を推進します。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児が、自然な生活の流れの中で直接的・具体的な体験を通して社会・文化・自然などに触れ、豊かな感性を育み、生きる力の基礎を培う環境づくりに努める。 ・幼児一人ひとりの特性に応じ、発達の課題を見極め、個々の成長を援助し、幼児期に育てるべきことを幼児期にふさわしい生活を通して育てることで円滑に小学校へ移行できるようにする。 ・保護者や地域の方々に信頼される幼稚園を目指して、幼稚園の機能を活かして預かり保育や園庭開放・教育相談を行い、子育て支援に努める。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○バザー及び模擬店(みなみはた祭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA事業の一環として、協力体制・実施方法・改善方法をPTA役員と園で協議しながら、みなみはた祭を10月29日(土)に実施。 <p>○奈良県教育週間(11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県幼児教育研究会による「子ども作品展」への出展。 ・地域に開かれた幼稚園づくりを目的として、教育講演会及び保護者が保育に参加する「幼稚園ウィーク」を開催。 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月11日(金)・自由選択遊びの見学と教育講演会(演題:「スマホネイティブ世代の今とこれから」 講師:三郷中学校校長)を実施。 11月16日(水)・保護者参加型の保育参観を実施。3歳児・信貴山寺本堂まで親子で散策。 4歳児・とっくり湖周辺を散策しながら集めて持ち帰った自然物を使って親子でリース作りをする。 5歳児・親子で「動くおもちゃ作り」をする。 <p>○特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援を必要とする園児への対応として、個別指導計画を作成し、保護者や関係機関との連携に努めた。 また、職員のスキルアップや幼児理解を深めることを目的として、巡回アドバイザーや県教育研究所から指導主事や作業療法士を講師に招き、園内研修を実施。 <p>○食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回、「手作り弁当日」を設定し、保護者に食育の大切さを考えてもらう機会とすることにより、食育の推進を図る。 ・給食参観後に保護者を対象に多目的ホールにて学校給食センター・岡崎栄養士による「食育に関する講演会」を開催し、併せて給食試食会を栄養士同席で実施。 <p><実施日> 6月14日(火):3歳児もも組 9月27日(火):4歳児うめ組 9月28日(水):5歳児さくら組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5歳児を中心に園内菜園を行い、収穫した野菜などを使ってカレー作りを実施。また、地域の方の協力を得て苜蓿を体験し、収穫した苜蓿の調理をはじめ、栗、梅の実、柿やキウイフルーツなど、園内で実った果実を自分達で収穫し味わうなど、身近な食材に接する機会を多く持つようにした。 また、地域の方から頂いた柿を使って干し柿作りにも挑戦した。 <p>○子育て支援及び預かり保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育終了後に園庭を開放して、保護者と園が園児の成長を共有し、保育内容に対する理解を深めると共に家庭教育の啓発や子育て相談を行う「にこにこランド」を年間6回実施した。 ・家族の通院や介護、兄や姉の授業参観等のほか、保護者の就労時間の急な延長等、各家庭の諸事情により緊急又は臨時的に降園時刻以降の保育が必要が生じた場合に、できる限り対応し、預かり保育を行った。 <p>○ALTとの交流(年間8回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年中～年長児が歌や遊びなどを通じて外国語や異文化に触れ、コミュニケーションの楽しさを感じることが出来る「ALTとの交流」を実施。(年中3回・年長5回)
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域に開かれた幼稚園作り」を目的として、幼稚園ウィークの期間に教育講演会や保護者参加型保育参観を実施するなど、幼稚園教育に対する理解を深めてもらう機会としている。しかしながら、年間2回実施している園評価の結果から、「地域に開かれた幼稚園である」、「特色ある活動を取り入れている」の2項目の評価が他の項目に比べて低かったことから、未だ成果は十分でないといえる。 ・特別支援教育については教員一人ひとりが、幼児理解を深めるための研修に積極的に参加するなど意欲的に取り組んでいる。しかしながら、日頃の自身の保育のありようについて「幼児自ら活動を展開できるような場や空間の構成をしている」、「幼児が自ら活動を生み出して行けるような素材を考えている」という項目についての自己評価が低く、「保育内容の充実」については成果が不十分である。 ・「幼児の姿、成長、課題を保護者と共有し、信頼関係の構築に努めている」という項目と子育て支援・預かり保育に係る「カウンセリングの基礎理解と相談機能向上に努めている」の2項目の評価が低く、保護者との信頼関係作りが十分でないといえる。また、保護者との信頼関係作りの場となる「にこにこランド」の参加率も伸び悩んでいる。 ・預かり保育については、明確なルールを示した文書の配布による家庭への啓発により、利用者増に繋がったものと思われる。
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)
	①預かり保育	実施回数	回	75	123	H27 H28
②園庭開放「にこにこランド」	実施回数/参加家庭数	回/家庭	7/366 (家庭)	6/258 (家庭)	H27 H28	- -

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①子育て相談や保育内容の理解、また、家庭教育啓発のための園と保護者との連携はもとより、保護者同士のつながりを広げるための幼稚園の役割。 ②本園の特色ともいえる「豊かな自然環境」の十分な活かし方。 ③「幼児期に育てたい力」について保育園とも情報を共有しつつ、就学前教育の充実に向けた保幼小の連携体制づくり。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①平成30年度の幼稚園教育要領改訂に伴う本園のカリキュラムの見直し及びその方法。
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①親子行事等の機会や電話連絡・家庭訪問など、教師自らが保護者との積極的なコミュニケーションに努めると共に、全職員で個々の事案に対するケース会議、またカウンセリング研修等の参加により教師のスキルアップを図る。また、園児の誕生会の後に、来園した保護者と園の管理職で「おしゃべり会」を実施し、クラスやバス停(地域)の違う保護者同士のつながりの場を提供。 ②恵まれた自然環境を保育の中で活かし、特色ある保育を実施するため、再度保育内容を見直す必要がある。また、子どもの育っている姿を保護者に細かく伝えるなど、今後も保護者に対する働きかけをタイミングよく、かつ継続的に行う必要がある。 ③年長児の幼保交流会を通して、引き続き教師同士が子どもの成長について意見交換できる機会を持つ。また、公開保育には教師が互いに参加しあえるようにし、有効な研修の機会とすると共に、小学校からの参加も検討し、保幼小の連携を進めていきたい。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①幼稚園教育要領改訂に係る研修には積極的に参加し、本園の教育課程、カリキュラムが教育要領に基づいた適切なものとなるよう逐次是正し、子どもの姿に沿ったカリキュラム編成を行う。
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
<p>・今後も地域や保護者から信頼される幼稚園を目指し、職員の資質向上と教育内容の充実を図るために、情報収集を積極的に行い、スキルアップのための研修には積極的に参加する。また、園内研修や検討会等の機会を多く持つことで職員間の共通理解や連携を図っていく。</p>		

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	①放課後児童クラブの充実	担当課名	教育総務課	教育大綱	I「子育てなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後や夏・冬・春休み時に子どもが集まって、学習や遊びを通して自主性や社会性・想像力を養えるよう放課後児童クラブを推進します。 ・放課後児童クラブにおいて、障がいのあるなしに関わらず、ともに参加できるよう関係者の理解やボランティア活動の促進に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>◎放課後児童クラブの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後など、日中に保護者が就労等により家庭において保育できない児童を対象に、町が運営主体となり、放課後児童クラブを設置。 <p>①対象：町内小学校に就学している児童</p> <p>②名称：三郷小学校放課後児童クラブ（定員100名） 三郷北小学校放課後児童クラブ（定員180名）</p> <p>③開所時間：学校授業日 午後2時～午後7時 学校休業日 午前8時～午後7時</p> <p>④休所日：土、日曜日及び祝日（年末年始） ※第2土曜日（7月・8月を除く）は、事前申込制により開所。</p> <p>⑤育成料：毎月5,000円（ただし、要件により育成料の減免措置あり）</p>
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○入所人数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">放課後児童クラブ名</th> <th style="text-align: center;">入所人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校放課後児童クラブ</td> <td style="text-align: center;">71</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校放課後児童クラブ</td> <td style="text-align: center;">155</td> </tr> </tbody> </table> <p>※入所人数は年間平均</p> <p>○製作</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モノを作る楽しさ、自分で工夫し創造する楽しさを体感させるため、製作を行った。また、できあがった作品は、保護者等にプレゼントすることにより、日ごろの感謝の気持ちを表し、家族の絆を再確認できる機会となった。 ①正月製作：祝い箸 <p>○伝承遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本に古くから伝わる遊びを通じて、日本の文化を再認識した。また友だちと集団で遊ぶ楽しさを実感させるため、冬期に下記の伝承遊びを実施。 ※こま、なわとび、けん玉 <p>○指導員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導員の資質の向上を図るため、県の児童福祉施設等職員研修に参加。 ・内容 ①講演：発達障害のある子どもたちへの支援 ②遊びの広場への参加（遊びに関する知識を深め、ゲーム世代の子どもたちに遊びの奥深さを知ってもらう） <p>○育成料の減免</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低所得世帯を対象に育成料の減免。 ※減免者数：25人 <p>○特別な支援を要する児童の受け入れ及び学生アルバイトの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を要する児童の受け入れ数(1ヶ月あたりの平均)・・・三郷小学校 5名 三郷北小学校 5名 ・開所時間の長い夏休み中、大学生のアルバイト指導員(3人)を活用。 	放課後児童クラブ名	入所人数(人)	三郷小学校放課後児童クラブ	71	三郷北小学校放課後児童クラブ	155
放課後児童クラブ名	入所人数(人)						
三郷小学校放課後児童クラブ	71						
三郷北小学校放課後児童クラブ	155						

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所希望の増加に伴う両小学校放課後児童クラブの定員増から、三郷小学校放課後児童クラブで指導員1名(常勤)、三郷北小学校放課後児童クラブで指導員2名(常勤・非常勤各1名)を増員し、保育の充実を図った。 ・日々の通常保育だけでなく、保育時間の充実を図るため、製作や伝承遊びなどを実施。 ・次年度(平成29年度)の三郷北小学校放課後児童クラブの入所希望者が想定数を上回ったため、放課後の保育の必要性の高い児童から優先的に入所できるよう対応したが、なお待機児童が多く出ることが懸念されたため、同クラブの定員を140人から180人に引き上げ、待機児童の解消を図った。
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)
	①放課後児童クラブ運営	入所人数 ※決算額は運営費	人	215	226	H27 29,249,538 H28 28,792,428
②育成料の減免	減免者数	人	26	25	H27 - H28 -	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①放課後児童クラブ下校時の児童の安全確保。</p> <hr/> <p>【新たな課題】</p> <p>①入所待機児童の解消に向けた対策。 ②夏休み等の長期休暇のみの受入れ及び5・6年生児童の受入れに対する検討。</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①放課後児童クラブの下校時は一般下校より下校時刻が遅いため、限られた安全巡視員数による児童一人ひとりのきめ細かな安全確保が必要である。このことから、今後も安全巡視員の増員を図ると共に地域の積極的な協力も仰いでいく。</p> <hr/> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①次年度(平成29年度)入所申請受付の開始以降、平成29年3月の時点で両校共に定員を超え、4月以降に待機児童が発生した。このことから、高学年児童の受入れも視野に入れ、定数を増数するため新たな施設の増設を検討。 ②小学校全児童の保護者を対象に、放課後児童クラブに係るニーズ調査の実施。</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に安全で充実した時間を提供することはもとより、保護者の安心と信頼を得るために、運営内容の充実及び指導員の質の向上を図る。 ・町政の主要施策でもある「子育て支援」の充実を図るため、待機児童の解消はもとより、主に就労する保護者の子育てにかかる負担を出来る限り軽減できるよう諸対策の検討。 ・待機児童解消に向け、施設の整備や増設を早期に検討。

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑫生涯学習の推進	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・時代に即応した町独自の学習の企画・開発に努め、より多様で充実した学習機会の提供を進めます。 ・知識・経験をもった人材が生涯学習に活躍できるよう、各種講座へのボランティア派遣制度の構築を図ります。 ・各種団体、学校、企業などの協力を得ながら、住民ニーズに合った学習講座の開催と様々な情報提供システムの構築を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○学習基盤の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が主体的な活動により、心身ともに健康で豊かな人生を送ることができるよう、多様な分野での学習活動の場を提供する。 ○地域住民等の人材の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に伴い活動を担う指導者やボランティアの育成を図り、地域住民等の人材を活用するとともに、その団体やグループに支援を行う。 ○各種学級事業 <ul style="list-style-type: none"> ・自主的な学習を支援するため、学習に必要な講師等を招き住民ニーズに応じた各種学級を開講する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○学習基盤の整備 社会情勢や住民ニーズを取り入れ、時代に沿った学習内容とする。						
	○各種学級の運営状況						
	学級名	目的	事業内容	平成27年度		平成28年度	
				学級生数	開催回数	学級生数	開催回数
	家庭教育学級	家庭教育の重要性や役割を認識し、子育てやそのあり方について学びつつ、保護者同士のネットワーク機能を充実させるとともに、自らを振り返り様々なことを学習する場を提供することで、安定した明るい家庭づくりを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・健康学習（ヨガ・健康体操等） ・助産師による講座 ・教養講座（ハーブ・家庭の金銭教育・話し方等） ・子育て相談会 	31人	11回	31人	10回
	長寿学級	熟年者として、時代の流れに対応できる生き方・暮らし方を探求し、自主的・意欲的な学習活動を通じて、生き甲斐を感じ取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・軽スポーツ（囲碁・ボール等） ・健康学習（フラダンス） ・現地学習ほか 	105人	11回	105人	11回
	くれない学級	教養を高め、自主的・意欲的な学習活動を行い女性としての生き甲斐を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・調理学習 ・歩く会（大和郡山城下町散策） ・創作 ・落語鑑賞 ・現地学習ほか 	48人	11回	46人	11回
歴史教室	身近な歴史とふれあい、個々の知識を深め心豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・現地学習4回（叡福寺等） ・講義6回（地球の年代史と人間の歴史等） 	83人	13回	86人	13回	
みさと万葉学習会	万葉集の学習を通じ、知識を深めるとともに町の歴史と文化についても関心を持ち心豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・現地学習3回（三重県伊勢市等） ・講義7回（京都大学院 佐野 宏先生、他） 	68人	13回	81人	14回	
※5学級合同学習会：7月9日（土）「人権学習会」、10月22日（土）「教育講演会」、2月21日（火）「健康福祉学習会」を開催。							

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○各種学習の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習学級として、「家庭教育学級」「長寿学級」「くれない学級」「歴史教室」「みさと万葉学習会」の5学級を開催。【成果指標①】 各学級の運営は各運営委員会により事業内容等を検討するなど、学級の自主的な運営を実施。 学習内容について、希望の講義や課題の把握のため、学級受講者にアンケートを実施した。 <p>○地域住民等の人材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学級の講師には、文化教室や各施設のボランティア団体等を活用し、地域の活性化を図るとともに、町外の講師も招き、内容の充実に努めた。また、奈良県登録の講師や他機関の人材も活用した。
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)																
	①生涯学習学級		登録者数	人	335	349	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black; width: 10%; text-align: center;">H27</td> <td style="text-align: right;">798,465</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black; text-align: center;">H28</td> <td style="text-align: right;">731,682</td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black; text-align: center;">H27</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black; text-align: center;">H28</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black; text-align: center;">H27</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black; text-align: center;">H28</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black; text-align: center;">H27</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border-bottom: 1px dashed black; text-align: center;">H28</td> <td></td> </tr> </table>	H27	798,465	H28	731,682	H27		H28		H27		H28		H27		H28
H27	798,465																					
H28	731,682																					
H27																						
H28																						
H27																						
H28																						
H27																						
H28																						

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生涯学習の各学級は、受講者には人気があることから例年同内容で継続しているが、社会情勢や住民ニーズを的確に捉えながら内容の刷新を検討することが必要である。 ②各学級生の高齢化や学級の地区役員が担当する地区の広さから、役員にこれまでと同様の役割や負担を求めることが難しくなっている。 <p>【新たな課題】</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学級や講座の開催については、アンケート等で学級生の希望等の把握に努めており、その結果も踏まえつつ、現行の体制（5学級制、自主運営、学習内容）で継続実施。ただし、それぞれの学級で毎年同じ内容の学習を繰り返すのではなく、新しいテーマや分野に積極的に取り組んでいく必要がある。 ②「各学級生による自主運営」という原則から逸脱しない範囲で、学級役員の負担軽減を検討していく。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	
	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
	<ul style="list-style-type: none"> ・住民が主体的に学習できる学級運営を行う。 ・地域の社会資源を掘り起こし活用する。 ・社会の変化に合った学習内容とする。 ・学級生が学級で学んだことを今後も活かしていけるよう、ボランティアバンクへの登録を斡旋する。 	

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑬青少年の健全育成	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	・児童・生徒の健全育成のため、問題行動の解決に向けた地域ぐるみの取り組みを推進するとともに、関係機関と連携し、早期発見・早期指導の体制充実を図ります。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>○青少年育成三郷町民会議 青少年問題の重要性に鑑み、関係機関および団体の緊密な協力により、広く町民の総意を結集し、次代を担う青少年の育成を図る。</p> <p>①ふれあいのつどい ・活力と創造性に満ちた青少年を育成するとともに、家族・地域社会等のふれあいを築くことを目的とする。</p> <p>②教育講演会 ・次代を担う青少年の育成を図ることを目的として講演会を開催する。</p> <p>③問題行動等防止 ・有害図書類等に対する立入調査を実施(年1回)する。 ・巡回指導の実施及び関係団体の協力のもと、夏休み・春休みに町内の巡視を行う。</p> <p>○成人式 新成人の門出を祝福するため「成人式」を開催する。</p>
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>○青少年育成三郷町民会議</p> <p>①指導推進部会 幼保小中高の様子や長期休業期間の生活の様子などについて学期毎に意見交換を行い、情報を共有し、各学校園において児童生徒等の指導にあたった。また、情報を共有することにより、学校のみならず、町全体の問題として地域の理解が深められ、学校、保護者、地域、関係機関等の連携強化が不可欠であることを確認。</p> <p>②調査研究部会 本年度は「自殺問題」をテーマに講演会を開催。自殺問題の現状と奈良県内や三郷町内の統計を踏まえ、相談員の活動や相談者と対応する際の注意事項など、実技を通じて学校、地域、行政とが連携した取り組みが必要であることを学んだ。 期日 平成29年3月2日(木) 場所 文化センター 音楽室 講師 奈良いのちの電話協会理事 上原 夏子氏 演題 「いのちの電話相談からみえるもの～気持ちに寄り添うこと～」 参加人数 42人</p> <p>③啓発促進部会 町民会議の各種事業に係るポスターの作成や広報、また「子ども・若者支援強調月間」のポスター募集等の啓発活動を展開した。</p> <p>④地域活動部会 「ふれあいのつどい」開催に係る内容・役割分担等、関係機関と協議及び連携し、事業を実施。</p> <p>⑤関係機関との連携 「三郷町要保護児童対策地域協議会」や「定例人推連絡会」と連携を図り、幼児・児童・生徒がおかれている現状を共通認識し、青少年の育成を図った。</p> <p>○教育講演会 期日 平成28年10月22日(土) 場所 文化ホール 講師 原坂 一郎氏 演題 「人はみんな「私って褒められたら伸びるタイプ」」 参加人数 134人</p> <p>○ふれあいのつどい ・参加家族全員で野外炊飯・味覚狩り・ゲーム等を楽しみながら、子ども同士・保護者同士のつながりを築くことができた。 期日 平成28年11月6日(日) 場所 農業公園信貴山のどか村 参加人数 小学生 54人・5歳児 9人・5歳児未満 16人・保護者 55人 合計 134人</p> <p>○問題行動等防止 ・有害図書等の巡視(平郡町と三郷町の合同により実施) 実施日:平成28年11月7日(月) ・巡回補導(生駒郡4町合同で実施) 実施日:平成28年11月12日(土) ・巡視活動 関係機関の協力のもと、学校の長期休業期間に公用車による町内巡視(12回)を実施。 (巡視時間 20時～22時) 実施日:夏休み期間 7月21日(木)・26日(火)・28日(木) 8月2日(火)・4日(木)・9日(火)・18日(木)・23日(火) 春休み期間 3月27日(月)・28日(火)・29日(水)・30日(木)</p> <p>○成人式 ・三郷町文化センター及び三郷町スポーツセンターにおいて実施。 期日:平成29年1月8日(日) 参加人数:181人(参加率71.0%)</p>
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>○青少年育成三郷町民会議 ・児童・生徒の問題行動について定例人推連絡会議や、突発的な事案に対し町行政と教員・家庭・地域とで緊急協議を実施。青少年の真の問題点の把握、分析を行い、各関係機関と密接な連携を図ることで、各部会の活動も予定どおり実施し、青少年の育成を図った。</p> <p>○ふれあいのつどい 期日：平成28年11月6日（日） 参加人数：134人【成果指標①】</p> <p>○教育講演会 ・前年度の参加者128人から今年度は134人と、やや増加したものの、いまだ参加者が少ない状況が続いている。【成果指標②】</p> <p>○問題行動等防止巡視 ・12回の巡視活動を行い、信貴山下駅前での「たむろ行為」を確認したが、例年に比較すると問題行動等に遭遇する機会は減少した。今後も引き続き西和警察署と連携し、巡視を継続していく。【成果指標③】 また併せて、三郷町要保護児童対策地域協議会や地域・学校等との連携を図り、問題行動等の指導にもあたる。</p> <p>○成人式 ・対象者255人のうち参加者が181人で、参加率は前年度65.6%から本年度は71.0%と5.4ポイント増加。今後も7割以上の参加率の維持に努める。【成果指標④】</p> <p>※青少年の育成については、単純に分析することは困難であるが、年々、家庭・学校・地域・行政の協働と連携の強化は図られている。今後も早期発見、的確な助言及び指導を通じて問題行動等の未然防止及び問題解決に努める。</p>
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)	
	①ふれあいのつどい	参加人数	人	139	134	H27	853,693
②教育講演会	参加人数	人	128	134	-----		
③問題行動等防止巡視	巡視回数	回	13	12	H28	780,698	
④成人式	参加率	%	65.6	71.0	H27	202,663	
					H28	362,671	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①問題行動等防止巡視 ・巡視において青少年に対して指導は行うが、補導等の権限がなく警察との連携が必要となっている。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①教育講演会の参加者が少ない。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①警察と連携し、昨年度に引き続き所轄の警察署に巡視時の同行を依頼し、問題行動等防止巡視において青少年に対して指導を行うとともに、関係機関に青少年への有害物販売等自粛を要請した。 また、同町民会議委員でもある少年補導員や青少年指導員に、より一層の協力を求めた結果、12回の問題行動等巡視活動に同行の協力を得ることができた。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①教育講演会は、PTA事業の一環であることを周知し、PTA会員の出席率を上げるとともに、より一層の啓発と集客を見込める魅力あるテーマや企画が必要である。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
	<input type="checkbox"/> 見直し	
<p>・青少年の育成には地域の協力が必要不可欠であることから、今後も関係機関等と連携を密に図りながら取り組む。</p>		

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑭人権教育・啓発の推進	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の自発的な啓発活動を促進するため、情報や学習機会の提供などの支援を強化するとともに、学校教育や社会教育を通じて人権教育の内容の充実を図ります。 ・行政、関係機関・団体等の連携によって、住民の立場に立った、利用しやすい人権相談窓口と体制の充実を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○識字学級 <ul style="list-style-type: none"> ・教育を受ける権利を保障されなかった方に、文字などを学習する機会を提供する。 ○人権教育地区別懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの中にある疑問や不合理などを話し合い、人権問題を身近な問題としてとらえ人権確立を図る。 ○人権問題学習セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の推進を図るための人権問題学習セミナーを実施する。 ○人権に関わる相談や対応 <ul style="list-style-type: none"> ・人権に関わる相談や人権侵害事象に対応するため、関係機関と連携を図りながら問題解決を行う。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○識字学級 <ul style="list-style-type: none"> ・毎週月・木曜日の午後3時00分より学級を実施した。学級生は学習意欲が高く、熱心に学習していたが、高齢と健康上の理由により平成28年7月以降休講。 登録者数：1人 学習内容：文字の練習、数字の計算等 ○人権教育地区別懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・「災害時における地域防災」をテーマとして、15会場で開催。 大きな震災を体験された方や実際に救援活動をされた方を講師に迎え、実践例をもとに日頃からどのように準備し、町づくりを進めることが命を守ることにつながるかについて意見交換を行うことができた。 延べ参加人数：551人 ○人権問題学習セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・3回の講演と2回の現地学習を実施。 【講演】 <ul style="list-style-type: none"> (1回目) 期日：平成28年7月19日(火) 場所：図書館 視聴覚室 講師：明日香村教育委員・元全国人権教育研究協議会委員長 高松 秀憲氏 演題：「くらしに人権文化を築こう～だれもの人生に、「いのち・愛・人権」を～」 (2回目) 期日：平成28年8月22日(月) 場所：図書館 視聴覚室 講師：防災士 小林 秀穂氏 演題：「地域の防災とまちづくり」 (3回目) 期日：平成28年9月15日(木) 場所：図書館 視聴覚室 講師：ちいろば園 施設長 富田 忠一氏 演題：「障害者差別解消法について」 【現地学習】 <ul style="list-style-type: none"> (1回目) 期日：平成28年10月14日(金) 場所：桜井市初瀬・三輪 内容：「桜井市初瀬のまちづくり」フィールドワーク他 (2回目) 期日：平成28年11月9日(水) 場所：兵庫県淡路市 内容：語り部による震災の体験談、防災の取組他 延べ参加人数：360人 ○人権に関わる相談や対応 <ul style="list-style-type: none"> ・人権問題啓発活動推進本部、人権教育推進協議会などの関係機関と連携を図り、「第28回人権を確かめあう日 県内一斉集会」、「差別をなくす町民集会」などの人権に関わる事業を開催。 ・随時人権相談に応じるとともに、三郷町要保護児童対策地域協議会などとも連携を図り、諸問題の解決にあたった。
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○識字学級 ・週2回を基本とし、受講者の体調も考慮し、夏・冬・春休みを設けた。受講者は学習意欲も高く、取り組んでいたが、高齢と健康上の理由により、現在休講中。【成果指標①】</p> <p>○人権教育地区別懇談会 ・複数の会場において開催希望日が重なり、日程調整に苦慮したが、今年度も500名を超える参加者があった。今年度も本町における身近な人権問題をテーマに掲げ、住民の方々に学習の場を提供することができた。【成果指標②】</p> <p>○人権問題学習セミナー ・今年も「いのち」「絆」「まちづくり」といった様々な人権問題をテーマとして取り上げた。参加者は、前年度に比べ増加した。【成果指標③】</p> <p>○人権に関する相談や対応 ・関係機関と連携を図りながら対応できる体制で臨んだ。</p>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)
	①識字学級	実施回数	回	69	19	H27 8,600 H28 0
②人権教育地区別懇談会	参加者数	人	551	551	H27 345,513 H28 396,424	
③人権問題学習セミナー	参加者数	人	332	360	H27 387,630 H28 411,180	
					H27 H28	
					H27 H28	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①人権教育地区別懇談会については、ここ数年一定の参加者はあるものの、大部分の地域で参加者の固定化、高齢化といった課題を抱えている。</p> <p>②人権教育地区別懇談会を15の自治連合会等単位で実施しているが、それぞれの地域住民の世代構成の違い等が顕著になってきていることから、あらゆる世代に対応できる共通テーマの検討が必要である。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①識字学級の休講。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①人権教育地区別懇談会については、参加者のニーズを十分把握するとともに、実施に当たっては各自治(連合)会長と綿密な連携を図りながら協力して進めていく。</p> <p>②人権教育地区別懇談会について、開催時に実施している参加者のアンケートや総括会議等での意見も参考にしながら、計画立案していく。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①識字学級の唯一の学級生が、高齢と健康上の理由による欠席のため、再開の目処がたっていない。今後も識字学級の新規入級者の募集に努める。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p>
	<input type="checkbox"/> 見直し (内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <p>・人権は誰もが持っている普遍的な権利であり、人権が尊重される地域社会を目指すため、情報や学習機会の提供を図るとともに、今後も人権相談等の体制を充実する。</p>

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑮文化センターの充実	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	・講座修了のグループが、個々の活動を自主的に展開できるよう、コーディネート体制の確保を図ります。 ・施設の有効利用を図るため、使用料の設定など、運営の改善に努めます。 ・施設の機能向上を図るため、利用者のニーズにあった改修を計画的に進めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	○グループ活動の支援 ・自主的な文化活動を行うグループなどに対し、有意義な活動ができるよう支援を行う。 ○各種講座の開設 ・文化センターにおいて、町民の芸術文化に対する関心を高めてもらうため、文化講座、健康講座等を実施する。 ○指定管理者の指定 ・民間の経営や事業展開のノウハウを活用し、より充実した施設管理を行うため、公益財団法人三郷町文化振興財団を指定管理者に指定する。それにより当該財団の自主事業との相乗効果が期待できる。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

No.	講座名	内 容	[単位/人]	
			延受講者数	
			平成27年度	平成28年度
1	パッチワーク&お針物	基礎的な技法を学び日常小物から個別に実習をします	129	81
2	声楽教室	発声練習と親しみやすい日本歌曲を歌います	189	127
3	ピアノ	初心者の方歓迎。基礎からメロディーまで学びます	76	
4	歌謡教室	ヴォイス初歩からマイクテクニック～プロテクニックまで楽しくレッスンします		年2回開講 196
5	絵手紙教室	季節の草花や身近な小物を描きます。一言添えて素敵なお便りを届けましょう		85
6	はじめての英会話	基礎から簡単な日常会話まで楽しくレッスンします	105	115
7	はじめての中国語	中国語の発音を正しく身につけて、日常会話を習得します		94
8	ストレッチフラダンス	自然賛歌を全身で表現、心と体を癒します	95	60
9	詩吟入門	教範に基づいて初心者向けに基礎から吟詠します		23
10	寄せ植え教室	初心者の園芸のコツと、四季に応じた寄せ植えを実習します		67
11	男の料理教室	料理、始めてみませんか？作る楽しさ、味わいます		43
12	はじめての箏曲	初心者対象。和楽器の音色による「音のリハビリ」で癒し効果を体感します		49
13	子どもICT講座	プログラミングアプリ「スクラッチ」を使い、ゲームを作りながら楽しく学びます		111
14	囲碁入門	囲碁の打ち方、ルールおよび、歴史や文芸も学びます	34	59
15	ツボ療法	からだの不調の原因はツボに表れます。ツボを知れば自分の体調管理ができます		133
16	入門太極拳	「入門太極拳」の8つの動作を学びます	104	119
17	ヨーガ	全身の歪みを調整し、呼吸法で免疫力をアップします	169	
18	ゆる体操初級	固まった身体をゆるりとほぐして血行を促します	187	70
19	陶芸教室	食器、花器等の成型及び簡単な加工・釉掛けします	78	
20	ウクレレ教室	初心者対象。ウクレレで弾き語りができるよう練習します	年2回開講 145	36
21	四季を描く水彩画	花・果物・野菜をデッサンから着色し、仕上げます	年2回開講 130	39
22	ペン字・筆ペンレッスン	季節のお便りや慶弔の表書きなど日常生活に必ず役立ちます	年2回開講 145	年2回開講 231
23	はじめての水墨画	季節の花や野菜、風景を墨と筆でハガキや色紙に描きます	68	
24	イタリアンクッキング	パスタ・ニョッキ・肉・魚料理やドルチェを楽しくクッキング!	77	50
25	パソコン	初心者を対象に実機を使用して学びます	80	
26	楽しいハングル	読み書きを中心に、会話も取り入れながら学びます	62	93
27	楽しいお琴教室 和音	会派、レベルに関係なく、椅子に座って学びます	27	
合 計			1,900	1,881
○文化センター利用率 [単位/人]				
		平成27年度	平成28年度	
・文化ホール		14.5%	13.2%	
・展示ホール・ロビー		26.5%	29.0%	
・会議室・研修室・音楽室		39.0%	39.9%	
・創作室・和室・茶室・視聴覚室		24.1%	23.7%	
・その他(リハーサル室ほか)		35.7%	35.9%	
合 計		30.8%	30.9%	
○文化センター改修(主な改修)				
・文化ホール舞台吊物設備ワイヤー取替		4,759,560円		
・文化ホール電動式移動観客席入替工事		87,480,000円		
		(H27: 34,992,000円 H28: 52,488,000円)		

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○文化講座・健康講座 ・平成28年度は、新規の9講座を含めて受講者の募集をしたものの、開講できた講座数は平成27年度から2講座増の23講座、延受講者数は平成27年度の1,900名から1,881名となった。当講座には、町内の文化・健康活動団体に対する会員の増強の目的もあることから単純に受講者数で判断することは難しいものの、3年連続の減少となっている。 例年アンケート調査を行い、受講者のニーズ把握はしているものの、アンケート結果や社会のニーズをどう講座に取り入れていくか、受講者の募集方法も含めて検討する必要がある。 【成果指標①】</p> <p>○文化センター利用状況 ・利用者数の把握が難しい施設もあることから、利用率(年間:各施設利用日数÷開館日数)により評価を行う。平成27年度と比較すると、施設により増減が異なるものの全館の利用率としては前年度とほぼ同率となった。しかしながら、展示ホール・ロビーや会議室・研修室・音楽室等の利用率は増加した。 【成果指標②】</p>
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)
	①文化教室 (決算額は文化教室講師謝礼及び委託料)	参加者数	人	1900	1881	H27 ----- H28
②文化センター (決算額は指定管理委託料)	利用率	%	30.8	30.8	H27 ----- H28	39,549,655 ----- 37,436,480
					H27 ----- H28	
					H27 ----- H28	
					H27 ----- H28	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①施設の維持管理 ・経年劣化による不具合や故障が頻発しており、計画的に改修する必要がある。 ②文化教室の受講生の減少。</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①施設の修繕については、緊急度と財政状況を勘案しながら計画的に改修する。 ②文化教室の生徒募集を行ったものの応募人数の不足による未開講が多いことから、アンケート結果やニーズを反映した講座内容にするため、諸々精査する必要がある。また、講義内容等については、講師に全面的に委任するのではなく、共に講義をコーディネートできる職員の確保が必要である。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・指定管理業務委託による一定の成果があることから、今後も教育委員会事業と文化振興財団事業の連携により、住民の自主的な文化活動の支援体制を強化する。</p> <p>・教室で学んだことを各方面で活かしていけるよう、受講生に対しボランティアバンクへの登録を斡旋する。</p>		

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑯文化活動への支援	担当課名	生涯学習課 教育総務課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動団体について、地域の文化活動を支える方たちを掘り起こし、それぞれに魅力を持たせ、会員の輪を広げていきます。 ・今後も、文化活動団体育成のための支援に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな分野から生涯学習の指導者等を掘り起こし、文化活動はもとより身近な生活課題や地域づくり等につながる学習活動の支援ができるシステムを構築する。 ○三郷町各種団体等運営補助金交付要綱に基づき、各種団体の活動及び運営に要する経費を補助金として交付し、文化の振興及び向上を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ①三郷町文化協会 ②三郷町地域婦人団体連絡協議会 ③三郷町子ども会連合会 ④三郷町民文化祭実行委員会 ⑤三郷町芸術祭美術展実行委員会
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習の指導者等の活用支援 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の学級や子ども人権学習支援事業の講師等の選定に際し、地域の団体・個人と連携を図ることに より講師依頼はもとより、新たな指導者の掘り起こしができた。 ①家庭教育学級 3回（健康体操、ヨガ、ハーブ講座） ②長寿学級 4回（健康体操、軽スポーツ（2回）、音楽鑑賞） ③くれない学級 3回（健康体操、陶芸教室、創作） ④三郷町子ども人権学習支援事業6回（軽スポーツ、ゲートボール、ものづくり体験、防災教育、遊び体験、お茶） ○団体への助成 <ul style="list-style-type: none"> ①三郷町文化協会（補助金額：774,200円） 主な事業：総会、文化協会まつり、人権学習会及び随時役員会を開催。 第10回文化協会まつりにおいて、町制50周年の特別出演として香芝天衝太鼓に演芸の部のオープニングとエンディングへの出演依頼。 第48回三郷町民文化祭の運営協力をはじめ、各種研修会等を開催し、会員の知識の向上を図った。 ②三郷町地域婦人団体連絡協議会（補助金額：200,000円） 主な事業：総会、環境学習等の学習会、町の各事業への参加。また、老人福祉施設へのボランティアを実施。 ③三郷町子ども会連合会（補助金額：233,338円） 主な事業：総会や子ども会の日（8月8日（月））にプール遊び等を実施。その他、リーダー研修会、ませこじゃの会、どろんこあそびの会等を開催。 ④三郷町民文化祭実行委員会（補助金額：1,402,345円） 主な事業：展示・発表を合わせて78団体の参加のもと「第48回三郷町民文化祭」を10月22日（土）、23日（日）に開催。町制50周年記念事業として、フリーマーケット、たつた姫作品展等を併せて開催。展示会場には2日間で2,753名の来場者があった。 ⑤三郷町芸術祭美術展実行委員会（補助金額：354,737円） 主な事業：「第29回三郷町芸術祭美術展」を9月8日（木）～9月11日（日）に開催。190点の作品が出展され、開催期間中1,000人の来場者があった。また町制50周年特別展示として過去10年間の美術展賞作品及び審査員による大型作品展示を開催。
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習の指導者等の活用支援 ・生涯学習を行う機会において、地域の指導者の協力を得て実施することで、より活発な活動ができた。 ○団体への助成 ・文化の振興、芸術の向上に寄与するため、各種団体に補助金を交付し所期の目的を達成できた。 【成果指標①】 ○三郷町民文化祭実行委員会 ・平成28年10月22日(土)・23日(日)に三郷町文化祭を実施し、展示・発表を合わせて78団体の参加があり、三郷町民の積極的な参加を促す目的は達成できた。【成果指標②】 ○三郷町芸術祭美術展実行委員会 ・平成28年9月8日(木)～11日(日)に第29回三郷町芸術祭美術展を開催し、町内外からの190点の作品の出展のもと盛況に開催。また町制50周年記念事業として特別展示を開催し、町内外共に本美術展の知名度を高めた。【成果指標③】
-------------	---

	事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)
②成果指標	①各団体への補助金 (文化協会・婦人会・子ども会)	補助金額	円	1,045,215	1,207,538	H27 ----- 1,045,215 H28 ----- 1,207,538
				参加団体数	団体	67
	②三郷町民文化祭実行委員会	来場者数	人	2,573	2,753	H28 ----- 1,402,345
				③三郷町芸術祭美術展実行委員会	来場者数	人

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生涯学習の事業実施に際し、地域に埋もれている指導者等の人材を掘り起こすシステムづくりが必要である。 ②三郷町地域婦人団体連絡協議会については、会員数を増加し、組織力を強化する必要がある。 ③三郷町には文化活動推進を目的とする補助団体として、公益財団法人三郷町文化振興財団・三郷町文化協会・三郷町芸術祭美術展実行委員会・三郷町民文化祭実行委員会の4団体がある。これまで、それぞれの団体が独自で活動を続けてきた経緯があるが、現状ではどの団体においても会員や入場者数を確保することに苦慮しており、今後活動を連携していく必要がある。 ④文化祭実行委員会・芸術祭美術展実行委員会共に会員の高齢化が進んでおり、イベントの開催に伴う準備等が困難になっている。 <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①三郷町民文化祭の運営に係る人材不足。
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①文化センターで行っている文化教室などと情報交換を行い、地域の人材を把握できる体制を構築。 ②地域婦人団体連絡協議会の会員募集を引き続き広報等で周知するとともに、暮らしの場に元気を生み出す(住民が相互に支えあい分かち合う精神を大切にする)活動など、会員の広がりにつながる活動を工夫する必要がある。 ③イベントの共同開催や、他団体の教室や研修会に積極的に参加をし、相互の団体の活性化を図る。 ④イベント開催の準備に伴う作業は、担当課等の職員でフォローするとともに、今後会員の若返りを図る。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①町・関係機関に人的な協力を依頼する。
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<p><input type="checkbox"/> 現状維持 ※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 見直し (内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材の発掘により、様々な学習活動の支援を得るとともに、指導者の育成及び支援を合わせて行う。 ・現在活動をされている団体・個人に対する継続支援。
--------------	---

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑰図書館の充実	担当課名	図書館 (生涯学習課)	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	・住民の生涯学習に対するニーズに応えるため、歳書・資料の充実を図り、資料収集を継続します。 ・誰もが気軽に利用できる住民の学習、ふれあいと憩いの場とするため、各種館内サービスや行事の充実に努めます。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	○資料・情報の提供 図書、雑誌、新聞をはじめ、CD・DVDなどの音響・映像資料を含む各種の図書館資料を幅広く収集して子どもから高齢者まで様々な方々の求める資料を迅速かつ的確に提供する。また、館内のインターネットアクセス端末によりネット情報の提供を行う。 ○子どもの読書の推進 絵本や児童図書の利用の促進(季節やテーマに沿った絵本の面展示<表紙を見せる>の実施、小中学生向け調べもの学習資料の充実)とともに、乳幼児向け(ブックスタート、ゆりかごおはなし会)、児童生徒向け(おはなし会、土曜の午後のおはなし会、夏・冬のつどい、本の森探検隊)などの年齢層に合わせた各種の行事を継続して行うことにより、子どもの読書の推進を図る。 ○生涯学習事業の推進 映画上映会(毎週土曜日)、大正琴やギターの演奏会のほか、講演会等を実施して、人々が集い交流する生涯学習の場を提供する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

○平成28年度統計																																																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳書冊数</td> <td>244,767冊</td> <td>250,260冊</td> </tr> <tr> <td>入館者数</td> <td>199,807人</td> <td>204,621人</td> </tr> <tr> <td>貸出人数</td> <td>87,976人</td> <td>87,880人</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>268,881冊</td> <td>271,226冊</td> </tr> <tr> <td>ネット延長人数</td> <td>5,729人</td> <td>5,874人</td> </tr> <tr> <td>ネット予約人数</td> <td>5,017人</td> <td>5,226人</td> </tr> <tr> <td>HPアクセス数</td> <td>62,185回</td> <td>65,614回</td> </tr> <tr> <td>読書通帳</td> <td>—</td> <td>1,686冊</td> </tr> </tbody> </table>		平成27年度	平成28年度	歳書冊数	244,767冊	250,260冊	入館者数	199,807人	204,621人	貸出人数	87,976人	87,880人	貸出冊数	268,881冊	271,226冊	ネット延長人数	5,729人	5,874人	ネット予約人数	5,017人	5,226人	HPアクセス数	62,185回	65,614回	読書通帳	—	1,686冊																																																															
	平成27年度	平成28年度																																																																																									
歳書冊数	244,767冊	250,260冊																																																																																									
入館者数	199,807人	204,621人																																																																																									
貸出人数	87,976人	87,880人																																																																																									
貸出冊数	268,881冊	271,226冊																																																																																									
ネット延長人数	5,729人	5,874人																																																																																									
ネット予約人数	5,017人	5,226人																																																																																									
HPアクセス数	62,185回	65,614回																																																																																									
読書通帳	—	1,686冊																																																																																									
○図書館行事																																																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">行事名</th> <th rowspan="2">概要</th> <th colspan="2">参加人数</th> </tr> <tr> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブックスタート</td> <td>11ヶ月検診にあわせて赤ちゃんと保護者を絵本の世界に誘う取組み</td> <td>69人</td> <td>127人</td> </tr> <tr> <td>ゆりかごおはなし会</td> <td>0～2歳の幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなど</td> <td>132人</td> <td>125人</td> </tr> <tr> <td>おはなし会</td> <td>小さい子どもと大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなど(毎週日曜日)</td> <td>807人</td> <td>1,069人</td> </tr> <tr> <td>土曜の午後のおはなし会</td> <td>お話しボランティアによる絵本の読み聞かせやストーリーテリング</td> <td>99人</td> <td>98人</td> </tr> <tr> <td>夏のつどい</td> <td>ペープサートや人形劇など子ども向けの行事</td> <td>89人</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>映画上映会</td> <td>名作映画の上映会</td> <td>2,727人</td> <td>2,505人</td> </tr> <tr> <td>本の森探検隊</td> <td>テーマを設定した本を探しながら、楽しみつつ本に親むイベント</td> <td>90人</td> <td>98人</td> </tr> <tr> <td>フロアーコンサート</td> <td>図書館の開架室でギター・マンドリンコンサート</td> <td>233人</td> <td>224人</td> </tr> <tr> <td>大人のためのストーリーテリング</td> <td>大人向けにストーリーテリングの面白さを伝える</td> <td>26人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>四国八十八か所講演会</td> <td>四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談の講演会</td> <td>34人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>大正琴コンサート</td> <td>大正琴のグループによる演奏会</td> <td>188人</td> <td>209人</td> </tr> <tr> <td>ギター・コンサート</td> <td>ギターのグループによる演奏会</td> <td>—</td> <td>56人</td> </tr> <tr> <td>冬のつどい</td> <td>ペープサートや人形劇など子ども向けの行事</td> <td>60人</td> <td>98人</td> </tr> <tr> <td>Mr. ミロルのパフォーマンスショー</td> <td>手品やサクソ演奏など子ども向けの行事</td> <td>—</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>児童文学講演会</td> <td>幼少時からの読書が与える影響についての講演会</td> <td>18人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>図書館講演会「ギター・コンサート」</td> <td>著名な演者または団体によるギター・コンサート</td> <td>125人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ブックリサイクル</td> <td>除籍済の図書資料を住民に提供</td> <td>1,040人</td> <td>863人</td> </tr> <tr> <td>ぬいぐるみのとしよかんおとまり会</td> <td>子ども達から預かったぬいぐるみが図書館で遊んでいる姿をアルバムにしてプレゼント</td> <td>11人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>陶芸作品展</td> <td>自治会陶芸サークルの作品展</td> <td>145人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>童謡歌碑除幕式</td> <td>「きらきらぼし」の歌碑の設置</td> <td>—</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>童謡コンサート</td> <td>童謡歌碑設置に伴う記念コンサート</td> <td>—</td> <td>119人</td> </tr> </tbody> </table>	行事名	概要	参加人数		平成27年度	平成28年度	ブックスタート	11ヶ月検診にあわせて赤ちゃんと保護者を絵本の世界に誘う取組み	69人	127人	ゆりかごおはなし会	0～2歳の幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなど	132人	125人	おはなし会	小さい子どもと大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなど(毎週日曜日)	807人	1,069人	土曜の午後のおはなし会	お話しボランティアによる絵本の読み聞かせやストーリーテリング	99人	98人	夏のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事	89人	80人	映画上映会	名作映画の上映会	2,727人	2,505人	本の森探検隊	テーマを設定した本を探しながら、楽しみつつ本に親むイベント	90人	98人	フロアーコンサート	図書館の開架室でギター・マンドリンコンサート	233人	224人	大人のためのストーリーテリング	大人向けにストーリーテリングの面白さを伝える	26人	33人	四国八十八か所講演会	四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談の講演会	34人	28人	大正琴コンサート	大正琴のグループによる演奏会	188人	209人	ギター・コンサート	ギターのグループによる演奏会	—	56人	冬のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事	60人	98人	Mr. ミロルのパフォーマンスショー	手品やサクソ演奏など子ども向けの行事	—	64人	児童文学講演会	幼少時からの読書が与える影響についての講演会	18人	—	図書館講演会「ギター・コンサート」	著名な演者または団体によるギター・コンサート	125人	—	ブックリサイクル	除籍済の図書資料を住民に提供	1,040人	863人	ぬいぐるみのとしよかんおとまり会	子ども達から預かったぬいぐるみが図書館で遊んでいる姿をアルバムにしてプレゼント	11人	14人	陶芸作品展	自治会陶芸サークルの作品展	145人	—	童謡歌碑除幕式	「きらきらぼし」の歌碑の設置	—	49人	童謡コンサート	童謡歌碑設置に伴う記念コンサート	—	119人
行事名	概要			参加人数																																																																																							
		平成27年度	平成28年度																																																																																								
ブックスタート	11ヶ月検診にあわせて赤ちゃんと保護者を絵本の世界に誘う取組み	69人	127人																																																																																								
ゆりかごおはなし会	0～2歳の幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなど	132人	125人																																																																																								
おはなし会	小さい子どもと大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなど(毎週日曜日)	807人	1,069人																																																																																								
土曜の午後のおはなし会	お話しボランティアによる絵本の読み聞かせやストーリーテリング	99人	98人																																																																																								
夏のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事	89人	80人																																																																																								
映画上映会	名作映画の上映会	2,727人	2,505人																																																																																								
本の森探検隊	テーマを設定した本を探しながら、楽しみつつ本に親むイベント	90人	98人																																																																																								
フロアーコンサート	図書館の開架室でギター・マンドリンコンサート	233人	224人																																																																																								
大人のためのストーリーテリング	大人向けにストーリーテリングの面白さを伝える	26人	33人																																																																																								
四国八十八か所講演会	四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談の講演会	34人	28人																																																																																								
大正琴コンサート	大正琴のグループによる演奏会	188人	209人																																																																																								
ギター・コンサート	ギターのグループによる演奏会	—	56人																																																																																								
冬のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事	60人	98人																																																																																								
Mr. ミロルのパフォーマンスショー	手品やサクソ演奏など子ども向けの行事	—	64人																																																																																								
児童文学講演会	幼少時からの読書が与える影響についての講演会	18人	—																																																																																								
図書館講演会「ギター・コンサート」	著名な演者または団体によるギター・コンサート	125人	—																																																																																								
ブックリサイクル	除籍済の図書資料を住民に提供	1,040人	863人																																																																																								
ぬいぐるみのとしよかんおとまり会	子ども達から預かったぬいぐるみが図書館で遊んでいる姿をアルバムにしてプレゼント	11人	14人																																																																																								
陶芸作品展	自治会陶芸サークルの作品展	145人	—																																																																																								
童謡歌碑除幕式	「きらきらぼし」の歌碑の設置	—	49人																																																																																								
童謡コンサート	童謡歌碑設置に伴う記念コンサート	—	119人																																																																																								
○祝日開館 祝日も開館することで、更に利用しやすく住民にとっての「憩いの場」とした。																																																																																											
○読書通帳 過去に読んだ本のタイトルや感想を記録し、読書体験の蓄積を実感できる「読書通帳」の配布。																																																																																											

- レファレンスサービス
資料の所蔵調査や文献の調査など、カウンターや電話、文書で寄せられる質問に対する回答に、図書館資料を活用。また場合により県立図書館情報館に協力依頼して回答した。
- 図書館のHPの充実を図り、インターネットによる蔵書の検索、予約、貸出期間の延長などを実施。モバイル端末でも同様に対応。

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。
	<ul style="list-style-type: none"> ○資料・情報の提供 今年度から祝日開館の実施により、前年度比で入館者数4,814人(2.41%)、貸出冊数2,345冊(0.87%)が増加。ネットでの予約件数も年々増加している。【成果指標①】 ○子どもの読書推進 乳幼児向け、児童生徒向けなど年齢層にあわせた各種事業を実施。ブックスタートは会場を図書館に変更したことやプレゼントする絵本の種類を増やしたことにより、参加者が昨年の倍近く増加。また、読書通帳の配布やおはなし会等のイベントの啓発により、おはなし会の参加人数が昨年に比べ262人増えるなど、全体的に子どもの利用が増加。【成果指標②】 ○生涯学習の推進 昨年度に比べ、上映会の回数が少なかったことやブックリサイクルで提供する寄贈本が少なかったことから、全体の参加者数は減少。今後は過去に上映した作品から上映する作品を参加者が選ぶ「リバイバル上映会」やブックリサイクルで提供する本の種類を事前に告知するなど工夫を凝らすことで、イベントに関心を向け、入館者の増加を図る。【成果指標③】

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)
	②成果指標	①資料情報の提供	貸出冊数	冊	268,881	271,226
②子どもの読書推進		参加者数	人	1,357	1,773	H27 182,628 H28 91,368
③生涯学習の推進		参加者数	人	4,536	4,086	H27 60,000 H28 60,000

③事業の課題	【継続的な課題】
	<ul style="list-style-type: none"> ①図書館を利用していない方に対する図書館利用を促す方法の検討。 ②イベント開催情報の周知方法の検討。
	【新たな課題】
	①入館者数に比べ、貸出冊数の増加率が低かった。今後は貸出登録者を増やし、リピート率を上げることで、貸出冊数の増加を図る必要がある。

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】
	<ul style="list-style-type: none"> ①今年度より祝日開館を実施し、少しでも図書館を利用しやすくなるよう環境を整えたことで、昨年度に続いて、入館者・貸出人数ともに増加した。今後は図書館単独のイベントに加え、地域のサークルや著名人などと共同でイベントを開催することで、新たな利用者を獲得し、来館者を増やす。 ②イベント情報を図書館HPトップ画面に表示し、クリックすることで詳細画面へ移動するなどホームページのリニューアルを行ったところ、イベントに関する問い合わせが増えた。今後は、ホームページの充実等に併せてポスターなどによる啓発を行い、イベント等の周知を図る。
	【新たな課題に対する改善方法の検討】
	①貸出期間(2週間)で読める冊数に限りがあることから、個人の貸出冊数を伸ばすことはもとより、登録者数及びリピート率を高めることで、全体の貸出冊数の底上げを図る。現在、三郷北小学校の移動図書館で利用者カードを作成しているが、今後は町内の専門学校や養護施設等にも図書館案内と申込用紙を設置し、登録者の増加を図る。また、人気の図書を当初から複数購入しておくことで、回転率を上げ、利用者を待たせることなく貸出冊数を増やす。

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・ 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> ・「三郷町まちづくり総合戦略」の目標達成に向け、町民への資料情報の提供という図書館の基本的業務を確実に実施し、様々な施策や行事を通じて図書館の魅力をアピールすることにより、さらに多くの利用者が図書館に親しむ環境づくりを積極的に進める。 ・「祝日開館」・「読書通帳」など、利用者のニーズに沿った環境づくりやイベントを開催し、一人でも多くの方に本に触れる機会を提供することにより、読書意欲を促す等の読書推進の支援を行うことで将来の利用者及び今後の貸出冊数増加に繋げる。 		

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩文化財の保護と活用	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県と連携しながら文化財保護に努め、案内看板・説明看板の整備など環境の整備に努めます。 ・民間団体による調査活動を支援するとともに、住民団体と協力して歴史的資料の発掘及び保全・管理をするための調査を進めます。 ・文化財の保全・管理・展示を行う郷土資料室のあり方について検討します。 ・文化財ボランティアの育成に努めながら、地域の歴史にふれる機会の充実を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・後世に継承すべき文化財の保護保存をしていくため、国・県等の関係機関と連携を図りながら町内の文化財の確認作業及び指定文化財等への保存助成、環境整備を行う。 ○文化財の啓発・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・町内の文化財について、広く町内外の方々に周知できるよう企画立案する。 ・文化センター内に設置している「郷土資料室」の有効な活用を図る。 ○地域の歴史学習の機会の提供等 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の一環として、地域の歴史を学ぶ教室を開催する。また、歴史・文化財に係る地域のグループ等がより充実した活動ができるよう協力・支援する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・現在、町内には国指定重要文化財3件、県指定文化財1件、町指定文化財10件（16点）、国登録文化財1件がある。加えて平成28年11月に「伝解脱上人貞慶五輪塔出土蔵骨器」を新たに町指定文化財に指定。それぞれの文化財の保存及び活用については、その所有者と連携を図り適切に対応した。 ・遍照院シダレザクラ（町指定）の樹木消毒の維持管理経費の一部助成を実施。 ・奈良県からの委嘱により、定期的に町内文化財の巡視及び適宜適切な保護を実施。 ○文化財の啓発・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・三室山に町内4基目の万葉歌碑を設置し、併せて三室山、龍田大社の万葉歌碑の解説板を設置。また万葉歌碑の除幕式を行い、町内外に向けて万葉故地のPRを実施。 ・龍田大社境内にある安村家邸内社に解説板を設置し、中近世の龍田大社の歴史を周知した。 ・町に関連する万葉歌の啓発グループ「みさと万葉歌プロジェクト」との共催で、11月13日（日）に三郷町制施行50周年記念シンポジウム「万葉歌が語る龍田」を開催。 ・地域に関する歴史の研究グループ「史学さんごう」との共催で、3月5日（日）に三郷町制施行50周年記念歴史講演会「三郷町と大和の城」を開催。 ・三郷小学校、三郷北小学校児童の文化センター郷土資料室見学に際し、「史学さんごう」の協力のもと児童に農具や古民具について説明した。 ○文化・歴史学習の機会 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の学級のひとつとして「歴史教室」を本年度も開講し、身近な歴史等を学ぶ機会を提供。また、三郷町にまつわる万葉歌が多く謳われていることから、万葉歌人の感性や歴史的な背景を学ぶため「みさと万葉学習会」を開講。 ○埋蔵文化財 <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度の三郷中央公園多目的広場建設の際に、約15,000年前の石器のアトリエ跡である「勢野東遺跡」が発掘されたことに伴い、平成23年度より7カ年計画で、勢野東遺跡発掘調査報告書の作成業務を奈良県に委託している。
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○文化財の保護・啓発・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の新たな補助金制度を活用して、指定文化財の維持管理に伴う経費を効率よく助成することができた。また、町内の文化財の定期的な巡視により、文化財の保護を適切に実施。【成果指標①】 ・三室山に町内4基目の万葉歌碑、三室山・龍田大社に万葉歌碑の解説板を、また安村家邸内社の解説板を設置したことで来訪者に三郷町の歴史背景を詳しく伝えることが可能になった。【成果指標②】 ・三郷町制施行50周年記念にあわせて「万葉集シンポジウム」と「歴史講演会」を開催し、好評を得た。例年開催している「みさと万葉文化講演会」及び「史学さんごう文化講演会」の集客にも繋がっていく成果であり、今後の三郷町の観光資源になり得るリソースを提供できた。【成果指標④】【成果指標⑤】 <p>○学級の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史教室」は86人、「みさと万葉学習会」では81人の登録があり、1年を通じて歴史文化に親しんだ。
-------------	--

	事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)	
						H27	H28
②成果指標	①指定文化財等の保全	文化財の保全	件	2	1	183,000	42,500
	②文化財説明板の設置	歌碑・説明看板の設置	件	3	3	393,120	760,920
	③勢野東遺跡発掘調査報告書作成業務	調査・製本業務	—	—	—	600,000	180,000
	④三郷町制施行50周年記念万葉集シンポジウム	参加者数	人	—	400	1,020,000	—
	⑤三郷町制施行50周年記念歴史講演会	参加者数	人	—	350	120,000	—

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①指定文化財に修理等の必要が生じた場合、所有者の負担に対して、国・県・町の各補助制度があるが、現状では所有者の負担が大きくなっている。指定文化財を維持していくには長期間にわたる所有者の理解と協力が必要なことから、極力所有者の負担を軽減する施策の検討が必要である。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>①国の観光施策の活発化に伴い、奈良県も県下の歴史・文化財を活かした事業を多く打ち出しており、町の業務量も増加している。また、三郷町においても隣接する大阪府柏原市と連携し、龍田古道の日本遺産登録を目指していることから、観光事業や開発事業をはじめ、文化財を所有する社寺等と長期的かつ専門的な保存計画をたてるためにも、専門技師の確保が必要である。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①文化財の所有者と定期的に意見交換を行い、現状確認を行う。また、所有者負担が過剰にならないよう、国・県に対して補助を要望するとともに、町の補助制度の拡充及び見直しも検討する。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①文化財や観光に関わる業務体制の拡充及び長期的に町内の文化財を管理、研究できる専任職員の配置。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> ・文化財を観光資源の1つとし、案内看板等の補修及び新設を行い、事業の活性化を図る。 ・住民団体を活用し、定期的な文化財の調査から講演会等の啓発イベント等、一貫した協力体制を構築する。 ・国や県、他市町村の関係機関と情報交換を行い、連携強化を図る。 ・専門的な立場と知識を持った職員を確保し、他の関係部局の業務のサポートを含め三郷町の歴史、文化財の学術的な保存・活用に係る事業を展開する。 		

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑱生涯スポーツの推進	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも継続的に気軽に楽しめるスポーツの機会を提供するため、指導者やボランティアリーダーの育成に努めます。 健康づくりや交流の場となる軽スポーツの普及に努めます。 青少年のスポーツ活動の振興を図り、そのための環境整備や自主的な活動への支援に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通して町民が生涯にわたり心身ともに健康な生活を営むため、三郷町体育協会や三郷町スポーツ少年団及び三郷町スポーツ推進委員などと連携し、スポーツを推進するとともに、身体づくり及び健康づくりを図る。 ○軽スポーツ事業 <ul style="list-style-type: none"> ・自分にあったスポーツライフの実現と競技の技量を身につけてもらえるように、各種軽スポーツ等を実施する。 ○総合型地域スポーツクラブへの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・住民の主体的な運営により、すべての世代の住民が楽しめる総合型地域スポーツクラブ「元気☆ひまわりクラブ三郷」が自立して運営できるよう支援を行う。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの推進 <ul style="list-style-type: none"> ①町民体育祭の開催 <p>地域住民がイベントを通じてスポーツに親しみ、町民の輪を広げることをテーマに、三郷町スポーツ少年団や他の各種団体の協力のもと、三郷町体育協会主催で10月9日(日)の第46回町民体育祭(於:中央公園多目的広場)の実施に向け準備を行っていたが、当日は雨天のため中止。</p> ②野球審判講習会 <p>盛んなスポーツの一つである野球の試合等の審判及び指導者の育成を行うとともに、ルール等の改正にも逐時対応するため、4月10日(日)に審判講習会を開催した。</p> ③関係団体に補助金の助成 <p>【三郷町体育協会】補助金額 2,760,300円 町制50周年記念事業として、7月2日(土)に「食育講演会」、2月19日(日)に「オリンピック選手になりたくなる講演会」をそれぞれ開催。</p> <p>【三郷町スポーツ少年団】補助金額 1,198,585円 町制50周年記念事業として、2月19日(日)に「オリンピック選手になりたくなる講演会」を三郷町体育協会と共催。</p> ④三郷町スポーツ推進委員 <p>子ども人権学習支援事業などに出向き、スポーツ振興のため住民に対しスポーツの実技指導等を行った。</p> ⑤軽スポーツ事業 <p>三郷町体育協会主催で9月18日(日)に「軽スポーツフェスティバル」、11月27日(日)及び2月5日(日)に「軽スポーツ大会」を開催し、軽スポーツの普及に取り組んだ。</p> ⑥総合型地域スポーツクラブへの支援 <ul style="list-style-type: none"> ・スポンサーの確保 2社 ・教室開催場所(グラウンド)の優先確保 ・教室の夜間開催 2教室 47回開催 延べ参加者215名 ・教室の土曜開催 2教室 49回開催 延べ参加者289名 ・教室等の体験イベントはテニスやフットサルなどを4回行い、夏・冬休みにも小学生向けにジュニアテニス教室2回、ジュニアサッカー教室を26回行った。体験型イベントには計304名の参加があった。クラブの主な事業となる教室について、未就学児向けにキッズボール遊びやキッズダンス、小学生向けにジュニアサッカー、ジュニアテニス、一般・シニア世代向けにノルディックウォーキング、太極拳や様々な種類のヨガ教室など、合計28教室を展開。全ての教室における開催回数は延べ1,000回で、参加人数は延べ6,766人。
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○スポーツの推進及び軽スポーツ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三郷町体育協会及び三郷町スポーツ少年団等の協力のもと、町の社会体育の最大イベントである第46回町民体育祭を10月9日(日)の実施に向けて準備していたが、雨天のため中止。【成果指標③】 ・三郷町スポーツ推進委員が地域に出向き、軽スポーツ等の振興を図った。 <p>○関係団体への補助金による助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「三郷町体育協会」及び「三郷町スポーツ少年団」に運営補助金を助成し、組織の育成及び強化を図った。また町制50周年記念事業として7月2日(土)に「食育講演会」を、2月19日(日)に「オリンピック選手になりたくなる講演会」を開催し、スポーツに対する気運を高めた。【成果指標①②】 <p>○総合型地域スポーツクラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜日・夜間の教室を開催し、会員数の増加を図った。会員数は平成29年3月末で251人となっており、平成28年度目標人数である240人を達成。【成果指標④】
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)
	①三郷町体育協会事業	参加人数	人	1,845	2,372	H27 2,185,167 H28 2,760,300
②三郷町スポーツ少年団事業	参加人数	人	635	672	H27 970,777 H28 1,198,585	
③町民体育祭	競技参加人数	人	2,836	中止	H27 914,311 H28 684,681	
④総合型地域スポーツクラブ事業	参加人数	人	4,907	6,766	H27 H28	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①昨今、様々なニューススポーツが発案され行われていることから、本町においてもその種目の取り入れ方法を検討する。また、既存の種目においては競技人口が減少していることから、今後の運営の在り方を検討する必要がある。</p> <p>②総合型地域スポーツクラブは、クラブ運営にスポーツくじ助成金を平成27年度～平成31年度の5年間受けているが、現在、助成金に頼った運営になっていることから、平成32年度以降の運営が困難になるものと思われる。</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①新しいスポーツ種目については、競技の目的・ルール等を十分把握し、実施市町村等からの情報収集及び分析を行い、地域での普及を図る。</p> <p>②総合型地域スポーツクラブは、法人化すれば助成金を計8年間受けることができるため、法人化も検討しつつ、助成金に頼らない自主運営ができるよう、新たな収入源の創出をはじめ、支出の削減を図る。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<p>・総合型地域スポーツクラブ「元気☆ひまわりクラブ三郷」の新規会員の獲得については、新たな種目の追加をはじめ、健康づくり・介護予防につながる教室の検討や参加費を低く設定した教室等の開催により、クラブ入会に係るPRを積極的に実施。</p> <p>・体育協会加入者やスポーツ少年団指導者等に対し、その経験を活かしたボランティアバンクへの登録を斡旋する。</p>		

平成28年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	㊸スポーツ施設の整備	担当課名	生涯学習課	教育大綱位置づけ	Ⅲ「住み続けるなら三郷町」
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの人が気軽に生涯スポーツを楽しめるよう、現有施設の有効利用を図り、誰もが利用しやすい施設改善を図ります。 ・自主的・主体的な総合型地域スポーツクラブの運営を支援をします。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の整備・充実を図るとともに、生涯スポーツと競技スポーツを連携し、運動能力向上の拡充に努めることを目的に、地域スポーツの振興と拡大及び社会体育を推進する。 ○指定管理 <ul style="list-style-type: none"> ・民間の経営や事業展開のノウハウを活用し、より充実したスポーツ施設の管理運営を行うため、スポーツセンター及びウォーターパークを合わせて指定管理により運営する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・経年による各施設の維持修繕が必要になっていることから、遂時、修繕及び改修を行い、施設利用に支障のないよう安全安心な施設運用を行った。 ①竜田運動公園 <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：成人及び学童軟式野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、サッカー、テニス等 施設整備：テニスコート砂補充、真砂土の入替え、管理棟女子トイレ修繕 (決算額：1,408,860円) ②勢野グラウンド <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：学童軟式野球、女子ソフトボール、少女ソフトボール 施設整備：真砂土の入替え (決算額：223,020円) ③スポーツセンター <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：卓球、軽スポーツ、少林寺拳法、健康体操、バレーボール等 施設整備：汚水ポンプ取替、電気計量器設置、エアロバイク(2台)購入 (決算額：1,525,242円) ④ウォーターパーク <ul style="list-style-type: none"> 施設整備：汚水ポンプ取替、屋外プール渡り橋改修、屋外25mプール塩ビシート張替、ろ過機ポンプ取替、室内プール天井改修、温水ポンプ水量計設置 (決算額：20,272,244円) ⑤中央公園多目的広場 <ul style="list-style-type: none"> 利用種目：成人及び学童軟式野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、サッカー等 施設整備：グラウンドの凍結防止工事、駐車場ポストコーン修繕、散水ポンプ修繕、整地車両修繕 (決算額：1,364,850円) ○指定管理 <ul style="list-style-type: none"> ・民間のノウハウを活かし、効率的かつ効果的な施設運営を行うため、平成25年度から5年間スポーツセンター及びウォーターパークを合わせて㈱潮成へ指定管理業務を委託。 (指定管理料 平成25年度から平成29年度まで合計123,592,196円)
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○スポーツ施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕や施設改修を行い、安全で安心な施設運営を図った。【成果指標①】 <p>○スポーツ施設の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設によっては、利用者数の減少も見られるが、利用者の体力の維持・増進や健康で明るい生活の充実、また、利用者同士の親睦に寄与した。 <p>○指定管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度以降、ウォーターパーク及びスポーツセンターを合わせて指定管理とし、民間のノウハウを活かして、効率的・効果的な施設運営と経費の削減を図った。なお、現行の指定管理業務委託は、平成25年度から平成29年度までの5年間。【成果指標②】
-------------	--

②成果指標	施設名	成果指標名	単位	H27年度	H28年度	決算額(円)
	①健民グラウンド	利用者数	人	28,605	34,675	H27 H28
②テニスコート	利用者数	人	8,975	8,860	H27 H28	
③中央公園多目的広場	利用者数	人	41,083	38,113	H27 H28	
④勢野グラウンド	利用者数	人	4,847	4,944	H27 H28	
⑤スポーツセンター	利用者数	人	84,066	85,905	H27 H28	
⑥ウォーターパーク	利用者数	人	62,505	61,495	H27 H28	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各施設の経年劣化により、不具合や故障が頻繁に発生し維持管理が困難になっているため、計画的な施設改修等が必要である。 <p>②グラウンドについては、近隣住民より砂塵の苦情が発生している。</p>
	<p>【新たな課題】</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①施設改修等については、財政状況を勘案し、緊急性の高いものから計画的に改修等を行う。</p> <p>②グラウンド利用者による散水の徹底に併せて防塵対策を行う。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>

6 今後の計画・方向性(PPLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・住民が望む生涯スポーツを推進するため、国・県等から補助金等の財政的資源をリサーチするとともに、現体育施設の適正な維持管理及び利用者が快適かつ安全に利用できるよう施設整備を行い、利用者増につなげる。</p>

Ⅳ 学識経験者の知見の活用

1. 点検評価有識者

平成28年度実施分の点検・評価を行うにあたり、客観性を確保するため、平成29年度に点検評価有識者に委嘱（委嘱期間：2ヵ年）した下記の学識経験者の指導及び助言を受け、報告書に所要の修正を行った。

点検評価有識者：奈良学園大学 副学長 金山 憲正

2. 指導・助言の内容

なお、今年度の報告書の総括と次年度以降に改善すべき課題として、以下の指導及び助言をいただいた。

点検・評価に関する事務が全般にわたり適切に執行されている。

「子育てなら三郷町」「教育なら三郷町」「住み続けるなら三郷町」の基本目標を受け、適切な基本施策が講じられていると共に、それぞれの施策に対しPDCAサイクルに沿い充実した改善活動が実施されている。

今後とも、直面する教育課題、社会状況の変化、地域住民の方々の願い等を踏まえ、広い視野で未来の三郷町像を見据えてより充実した施策が展開されることを願う。

例えば、新しい学習指導要領では「道徳」「英語」が教科として登場することや、「主体的・対話的で深い学び」が取り上げられていることにも関連した教職員研修の充実なども一つの着眼点であると考える。

なお、前年度同様、各施策の今後の方向性で、「予算拡充」「事業拡大」にチェックが入っている施策に関しては、財政負担及び事業の執行体制等のバランスに十分配慮する必要があると考える。

平成29年8月21日

金山 憲正